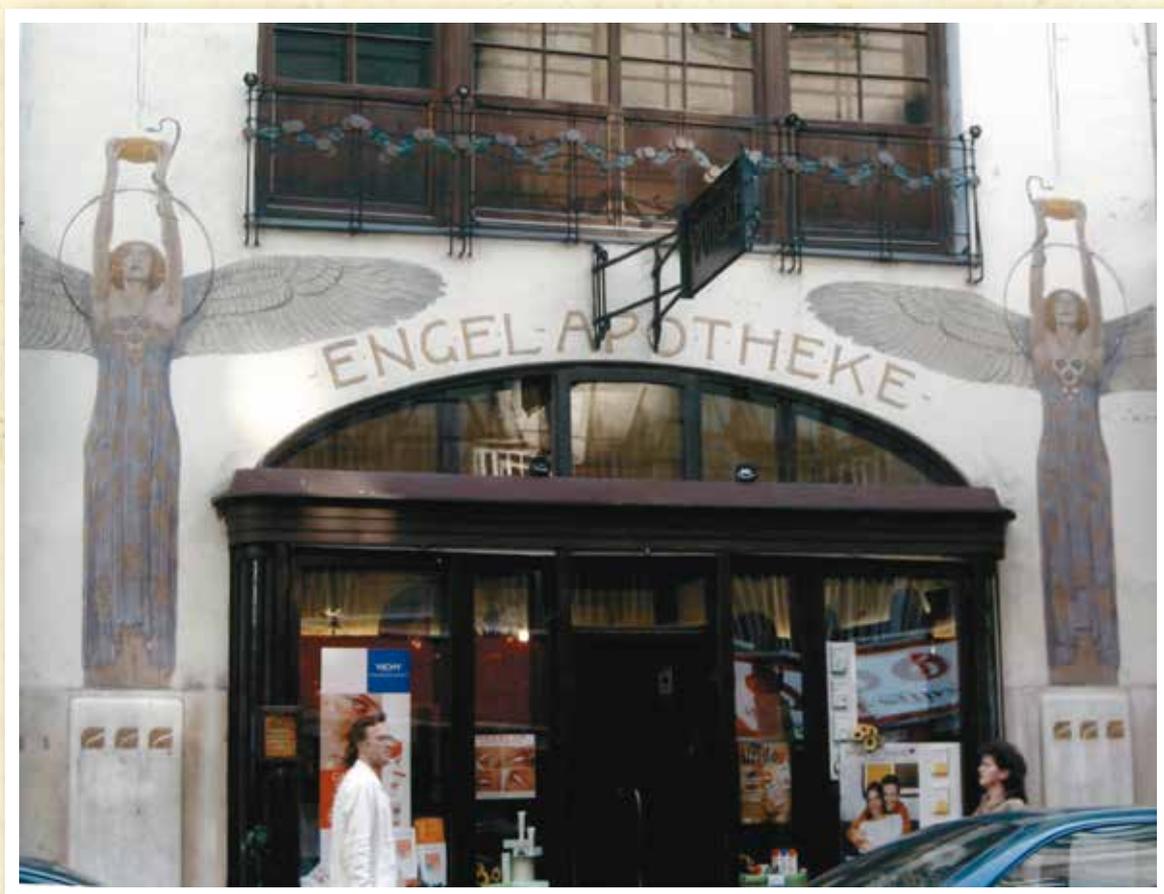




沖縄薬剤師会報

No.311. 2022(令和4年) 1・2月号



沖縄県薬剤師会

薬剤師行動規範

昭和43年8月26日 薬剤師倫理規定制定

平成9年10月24日 薬剤師倫理規定改定

平成30年1月17日 薬剤師行動規範制定

薬剤師は、国民の信託により、憲法及び法令に基づき、医療の担い手として、人権の中で最も基本的な生命及び生存に関する権利を守る責務を担っている。この責務の根底には生命への畏敬に基づく倫理が存在し、さらに、医薬品の創製から、供給、適正な使用及びその使用状況の経過観察に至るまでの業務に関わる、確固たる薬（やく）の倫理が求められる。

薬剤師が人々の信頼に応え、保健・医療の向上及び福祉の増進を通じて社会に対する責任を全うするために、薬剤師と国民、医療・介護関係者及び社会との関係を明示し、ここに薬剤師行動規範を制定する。

1. 任務

薬剤師は、個人の生命、尊厳及び権利を尊重し、医薬品の供給その他薬事衛生業務を適切につかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々の健康な生活を確保するものとする。

2. 最善努力義務

薬剤師は、常に自らを律し、良心と他者及び社会への愛情をもって保健・医療の向上及び福祉の増進に努め、人々の利益のため職能の最善を尽くす。

3. 法令等の遵守

薬剤師は、薬剤師法その他関連法令等を正しく理解するとともに、これらを遵守して職務を遂行する。

4. 品位及び信用の維持と向上

薬剤師は、常に品位と信用を維持し、更に高めるように努め、その職務遂行にあたって、これを損なう行為及び信義にもとる行為をしない。

5. 守秘義務

薬剤師は、職務上知り得た患者等の情報を適正に管理し、正当な理由なく漏洩し、又は利用してはならない。

6. 患者の自己決定権の尊重

薬剤師は、患者の尊厳と自主性に敬意を払うことによって、その知る権利及び自己決定の権利を尊重して、これを支援する。

7. 差別の排除

薬剤師は、人種、ジェンダー、職業、地位、思想・信条及び宗教等によって個人を差別せず、職能倫理と科学的根拠に基づき公正に対応する。

8. 生涯研鑽

薬剤師は、生涯にわたり知識と技能の水準を維持及び向上するよう研鑽するとともに、先人の業績に敬意を払い、また後進の育成に努める。

9. 学術発展への寄与

薬剤師は、研究や職能の実践を通じて、専門的知識、技術及び社会知の創生と進歩に尽くし、薬学の発展に寄与する。

10. 職能の基準の継続的な実践と向上

薬剤師は、薬剤師が果たすべき業務の職能基準を科学的原則や社会制度に基づいて定め、実践、管理、教育及び研究等を通じてその向上を図る。

11. 多職種間の連携と協働

薬剤師は、広範にわたる業務を担う薬剤師間の相互協調に努めるとともに、他の医療・介護関係者等と連携、協働して社会に貢献する。

12. 医薬品の品質、有効性及び安全性等の確保

薬剤師は、医薬品の創製から、供給、適正な使用及びその使用状況の経過観察に至るまで常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努め、また医薬品が適正に使用されるよう、患者等に正確かつ十分な情報提供及び指導を行う。

13. 医療及び介護提供体制への貢献

薬剤師は、予防、医療及び介護の各局面において、薬剤師の職能を十分に発揮し、地域や社会が求める医療及び介護提供体制の適正な推進に貢献する。

14. 国民の主体的な健康管理への支援

薬剤師は、国民が自分自身の健康に責任を持ち、個人の意思又は判断のもとに健康を維持、管理するセルフケアを積極的に支援する。

15. 医療資源の公正な配分

薬剤師は、利用可能な医療資源に限りがあることや公正性の原則を常に考慮し、個人及び社会に最良の医療を提供する。

目次

薬剤師行動規範

トピックス

新型コロナウイルス感染防止対策に係る時限的特例措置等の緊急要請対応薬局へ感謝… 前濱 朋子 (3)

赤帽 沖縄県軽自動車運送協同組合に感謝状を贈呈 …… 大城 喜仁 (4)

表彰

令和3年度医学教育等関係業務功労者文部科学大臣表彰 (与那覇房子先生) 大城 喜仁 (5)

年頭挨拶

新年のご挨拶… 前濱 朋子 (6)

新年ご挨拶… 山本 信夫 (7)

新年のあいさつ… 大城 玲子 (8)

決戦の年を迎えて… 神谷 まさゆき (10)

新年にあたって… 本田 顕子 (11)

新年のご挨拶… 藤井 基之 (12)

年頭ご挨拶… 國場 幸之助 (13)

ご挨拶… 西銘 恒三郎 (14)

ご挨拶… 宮崎 政久 (16)

新年のご挨拶… 島尻 安伊子 (17)

新年のご挨拶… 比嘉 奈津美 (18)

新年のご挨拶… 新垣 淑豊 (20)

沖縄学術大会

第34回沖縄県薬剤師会学術大会開催… 潮平 英郎 (22)

演題発表認定証授与・大会奨励賞審査結果発表および授与式… 金城 佳樹 (26)

会員発表審査報告… 中尾 滋久 (27)

奨励賞受賞発表要旨… 西川 裕・大宜見 真希 (28)

保健・福祉

令和3年度第1回栄養管理に関する研修会… 松本 圭五 (30)

令和3年度薬剤師認知症対応力向上研修報告 …… 中尾 滋久 (32)

災害対策

新型コロナウイルスワクチン充填業務報告… (33)

進藤 聡人・寺本 奈都子・神里 奈々子・石井 岳夫

県民の皆様へ

あまくま薬立つ情報… (36)

D I

薬事情報おきなわNo. 268 …… 薬事情報センター (37)

リレー随筆

パーソナルジム通ってみた… 内嶺 陽平 (45)

薬草学

身近な薬草を知ろう 第53回 クマツヅラ：馬鞭草：バーベナ …… 狩俣 イソ (46)

薬連だより

政幸だより～訪問活動のエネルギー源・JPLフォーラム2022が開催されました～… 神谷 まさゆき (48)

オレンジ日記 ～イメージカラーと共に・誰が安定供給を担うのか～… 本田 顕子 (50)

国会レポート ～令和4年度政府予算案・ブースター接種の推進～… 藤井 基之 (51)

ぶれいくたいむ

寂聴さんの言葉… 新垣 正次 (52)

孫とじいちゃんの夢… 仲宗根 繁 (52)

落ち穂「沖縄の結婚式」「外で患者に出会ったら」「高校生は何を思う」 安村 慶子 (53)

転載記事

県薬剤師会が赤帽に感謝状 コロナ患者へ配薬協力… (5)

女性の翼 前濱朋子会長へインタビュー… (54)

沖縄県、国公立3大学にヒアリング～薬学部の新設可能性、年度内に取りまとめ… (55)

政治課題に上る沖縄の薬学部新設～選挙公約に記載も、まだ見えぬ着地点… (56)

県内初の薬学部「設置支援」明記～沖縄県の新たな振興計画素案… (57)

沖縄県難病相談支援センター 難病情報誌「アンビシャス」連載記事 … 吉田 典子 (58)

国保・社保

令和4年度診療報酬等受付・レセプト受付等について …… (60)

沖縄県国民健康保険団体連合会・社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

会務報告

令和3年12月分 …… (62)

沖縄県薬剤師連盟会務報告 (令和3年12月分)… (63)

討報

石川幸子先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。… (63)

会員作品

誌上ギャラリー (裏表紙) について… 令和3年 誌上ギャラリー大賞&優秀賞決定! … (64)

編集後記

… (64)

お知らせ

会報原稿募集のご案内… (5)

FaceBookをご覧ください! …… (9)

沖縄県薬剤師連盟FaceBookをご覧ください! …… (15)

県薬が会員に販売している印刷物等… (31)

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について… (63)

トピックス

沖縄県内で年明けから驚異的に蔓延した新型コロナウイルスの感染防止対策に対する国・県行政からの緊急的な時限的特例措置等の協力要請に対応されてきた会員薬局の薬剤師及び従業員の方々へ、前濱朋子会長が感謝の意を一斉同報しました。

令和4年1月31日

会員薬局 各位

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、政府において「まん延防止等重点措置」の適用対象として沖縄県が指定され、2月20日までの期間と定められました。県内では、PCR検査センター等での検査の逼迫、発熱外来を行う医療機関への患者の集中による救急医療への大きな負担がかかるなど、速やかな健康観察等のケアに繋げることが未だに困難な状況であります。

ご周知のように、本会におきましては、県行政や県医師会などの関係機関と、この状況における対策について幾度となく協議を重ね、緊急要請にも対応して参りました。これに対し、特に会員薬局には、医療用抗原定性検査キットを使用した検査実施体制について、県が緊急設置した抗原定性検査・陽性者登録センターへの協力、卸売販売業者から購入することが困難となった社会機能維持者である事業者への販売等、時限的特例措置等への対応について度重ねて対応を講じて参りました。

このような、緊急的な協力要請にもかかわらず、迅速にご対応いただきました会員薬局におかれましては、県民への様々な対応にご協力いただき、県民や沖縄県からも感謝の声を頂いております。新型コロナウイルス感染症関連の問い合わせ等も多岐にわたり、通常業務にも影響があらうかと思いますが、県民の健康を支える薬局、医療従事者としての使命からも、県民からの体調不良やコロナ関連等の相談や問い合わせの対応は、薬局の必須業務と言えます。薬局従事者の不足も起こりえますが、何卒、出来得る限りのご対応をお願い申し上げます。

なお、抗原定性検査キットの流通状況が当初より不安視されておりますが、県行政も国へ確保・維持のための要請、卸売販売業者との調整に努めており、卸売販売業者も日々、慌ただしく対応に追われている状況でございます。

会員薬局の薬剤師及び従業員の方々におかれましては、業務が多忙となることと思いますが、地域における薬局の貢献を念頭に置き、県行政や卸売販売業者との対応につきましてもご理解・ご協力いただき、共に頑張ってお参りしましょう。また、薬局内での感染防止にも十分にご配慮ください。

皆様のご健勝とさらなる発展をご祈念申し上げます。

沖縄県薬剤師会
会長 前濱 朋子

沖縄県薬剤師会ホームページには、上記関連事項を含む新型コロナウイルス感染症対策に関する最新情報を日々更新、随時掲載しておりますので、ぜひ御覧になられてください。

沖縄県薬剤師会ホームページトップ > 感染症情報

令和3年度医学教育等関係業務功労者 文部科学大臣表彰



与那覇 房子 先生、おめでとうございます



大屋祐輔琉球大学病院長から賞状と記念品を手渡された与那覇房子氏（右）

文部科学省は、国立、公立及び私立の大学における医学・歯学に関する教育研究または患者診療等に係る業務に関し、顕著な功労のあった方々を対象に、毎年（昭和49年度より）文部科学大臣表彰を行っている。

同表彰に、本会会員の与那覇房子先生（琉球大学病院薬剤部）が受賞した。

毎年、文部科学省で執行される同表彰は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、琉球大学病院に届けられ、去る1月25日に大屋祐輔琉球大学病院長が伝達にて賞状と副賞を手渡した。（文：事務局 大城喜仁）

会報原稿募集のご案内

広報委員会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp



新年のご挨拶

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長
前濱 朋子



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては2020年寅年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より沖縄県薬剤師会の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発症から2年余りが経過しています。昨年末には収束の兆しも見られていたところ、より感染力の強い変異株の第6波により、パンデミックでの年明けとなりました。未だ蔓延がおさまらず、社会・経済活動に影響を及ぼし続けています。

昨年度のコロナワクチン接種では行政の要請に応じ、薬剤師も医師・看護師と連携し接種会場でのワクチン充填作業に従事しました。また、沖縄県薬剤師会でのコロナ相談窓口の開設、自宅・宿泊療養施設への配薬などへの対応も会員の皆様の協力により実現して参りました。国民の健康増進に果たす薬剤師の役割は今後益々大きくなっていきます。

地域包括システムへの薬局・薬剤師の参画の進む中、昨年改正薬機法により認定薬局制度が施行され、「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」の整備を進めるなど、薬剤師・薬局にはより高度な知識が求められています。薬剤師として生涯学習に努めて職能を高めていくことが必須であり、沖縄県薬剤師会では日本薬剤師会が策定した「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」の各項目や内容を組み入れる形で研修機会の充実を図ることに努めておりますので、研修会等への積極的なご参加をお願い申し上げます。

これらのことを実現していくためには、政策決定の場における薬剤師の力も必要です。私達薬剤師が持っている力をしっかりと発揮できる基盤の整備とともに、充実化を推し進めていくためにも、今年の参議院議員選挙への日本薬剤師会組織内統一候補となった日本薬剤師連盟副会長の神谷まさゆきさんへの強力な支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、「薬と健康の週間」中に厳修される薬祖祭においては、参拝者に張子の虎を笹に結びつけたお守りが配られます。この風習は、日本で初めてコレラが大流行した年に大阪の道修町の医薬商が相議り、疫病除卸薬「虎頭殺鬼雄黄圓（虎の頭骨を配合した丸薬）」を作り、神前で祈祷して庶民に無料で施し、虎と竹を組み合わせたお守りと共に配ったことによるとのことです。悪鬼を喰ってくれる虎は人間にとって守護神であるという中国の神話により、日本でもコレラ騒ぎの渦中に厄病退散の祈りと共に張り子の虎が笹に吊るされたとされています。寅年の本年、新型コロナウイルス感染の収束を願い、薬剤師の職能を発揮してまいりましょう。

結びにあたり、会員の皆様、各地区薬剤師会及び関係団体のますますのご活躍とご発展を祈念いたしますとともに、今後とも本会事業にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



新年ご挨拶

公益社団法人 日本薬剤師会 会長
山本 信夫



新年明けましておめでとうございます。沖縄県薬剤師会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より本会の進める諸事業に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

昨年はコロナウイルスの変異株の出現で、これまで経験したことのない第4波、第5波のパンデミックにより、緊急事態宣言が各地で繰り返し発令されるなど、国民生活がCOVID-19に翻弄された一年でありました。2月からスタートしたワクチン接種については、全国各地で医師・看護師・行政当局と連携協力して、ワクチン接種体制の確保にむけ、接種前の問診やワクチンの希釈・充填作業等を通じて、迅速な接種環境の整備にご協力頂きましたこと、また感染者の急増に伴い自宅あるいは施設等で療養を余儀なくされた地域の方々への、切れ目のない医薬品提供にご尽力をいただいていることに、日本薬剤師会を代表して感謝を申し上げます。

また、超高齢社会を見据えた薬剤師・薬局の新たな姿を目指す、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局という認定薬局制度がスタートしました。目先の認定にとらわれることなく、地域住民の医薬品ニーズに即応可能な新たな概念に基づいた基本的機能を備えた薬局として、その役割を担い地域住民から確実な信頼が得られるよう不断の努力が求められる年となります。そのためには、これまで、ややもするとお座なりになりがちであったセル

フケア/セルフメディケーションに対しても、医薬品の安全は薬剤師が守るという気概を持ち、より積極的なOTC医薬品への対応が欠かせません。数年来論議されている緊急避妊薬等についても地域の実情を踏まえた的確・適切な提供体制の構築やその取り組みが不可欠であると考えます。

一方、様々に形を変えながら薬剤師業務への規制改革の圧力は未だ弱まる兆しが見えません。国が進めるICT化やデジタル化が薬剤師業務に大きな影響を与えることに対しても臆することなく、「薬剤師の本質的な業務」について自ら再検討を加えることは、避けて通れない大きな課題と認識しています。「調剤の外注を認めよ！」等の薬剤師業務に対する様々な声が聴かれています。また、「薬剤師の役割は何か？」と言う重要な命題について、自ら解決策を模索する姿勢が求められていると思います。

また、政治の分野に目を転じれば、本年夏には参議院議員選挙が行われます。やっと築いた組織代表2人態勢を維持できるか、薬剤師の将来を左右する重要な年となることも忘れてはならないと思います。

解決すべき課題は山積していますが、会員の皆様が一丸となって、社会からの大きな期待や医療における役割の重要性等について見つめ直し、迷わず行動を起こし、果敢に課題に取り組み、沖縄県薬剤師会会員各位にとって本年が「真に薬剤師の輝ける年」となるよう祈念して、新年の挨拶といたします。



新年のあいさつ

沖縄県保健医療部 部長
大城 玲子



新年あけましておめでとうございます。沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げますとともに、日頃から本県の薬務行政の推進に格別の御支援と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、私たちの経済活動や日常生活に深刻な影響を与え、多くの皆様が不安の中で日々を過ごされていたことと思います。その中で、ワクチン接種等については、医師、看護師等と連携協力してワクチンの充填作業を行い、また、感染者の急増に伴い自宅や施設等で療養を余儀なくされた地域の方々に対する医薬品の提供を行い、この未曾有の危機を乗り越えるために大変な努力をされていることに深く敬意を表します。

国においては、少子高齢化が加速する中、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見据えて全世代型社会保障の構築を目指した取組が始まろうとしております。こうした中で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を進めており、その一翼を担う薬剤師・薬局は、服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導に加え、24時間対応・在宅対応や、医療機関等との連携、薬物療法の専門家として、その機能や職能を發揮していくことが期待されています。

また、19年に公布された改正医薬品医療機器等法は昨年8月施行2年目を迎え、超高齢化社会を見据えた薬剤師・薬局の新たな姿を目指す、皆様ご存じの地域連携薬局や専門医療機関連携薬局が認定薬局制度としてスタートし、県内でも認定薬局が果たす役割への期待が高まっております。県民からの多様なニーズに対応するため、薬局や薬剤師を取り巻く環境、求められる役割等はめまぐるしく変化していくものと思われまます。薬剤師の皆様にはこれまで以上に重要な役割を担っていくものと期待しております。

薬物乱用防止対策につきましては、本県の薬物事犯による検挙人員は増加傾向にあり、予断を許さない状況が続いております。さらに、薬物事犯の若年化が進んでおり、青少年への薬物乱用の拡がり懸念されております。沖縄県においても、例外ではなく、青少年への薬物乱用防止対策の充実強化が求められており、県としても一層の薬物乱用防止対策を進めてまいります。

皆様におかれましても、薬の専門家である薬剤師として、医薬品の適正使用と併せて、今後とも、薬物乱用防止対策に一層の御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様には、県民の意識や生活スタイル、医療の要請が絶えず変化していることを踏まえつつ、自らも時代に即して、県民が期待する社会的使命を果たされますよう、今後とも、地域住民あるいは医療関係者から信頼され、保健医療に貢献できる薬剤師を目指し、不断の研鑽に努めていただきたいと思います。

医薬品の安定供給や適正使用の推進等を通じ、県民の健康増進に御尽力を賜りますとともに、薬務行政の円滑な推進につきましては、今後とも変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、新春の門出にあたり、沖縄県薬剤師会の限りない御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。



お知らせ

Facebook をご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>



決戦の年を迎えて

日本薬剤師連盟 副会長
神谷 まさゆき



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、コロナ禍の中で昨年2月より開始した全国支部訪問は、ビデオ通話等を利用した薬局訪問やWEBを通じた交流会等のリモート訪問で始まりました。3月からは、感染症対策のガイドラインに基づき対策を徹底し、直接訪問ができたところでは日中は薬局、卸事業所等を訪問し、夜は集会や意見交換会に参加するという日程を基本に、状況に応じリモート訪問や直接訪問を組み合わせたハイブリッド訪問等を行いました。訪問先都道府県薬剤師連盟の皆様におかれましては、訪問活動の実施にご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。おかげさまで昨年末までに38都道府県を訪問することができました。

このような中で7月には、自由民主党から第一次の公認候補者の決定をいただき、愛知県参議院比例区第18支部を設立することができました。これは私の活動をご理解いただき、ご支援いただいている皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいになるとともに、その重責に決意を新たにしました。

本年は、子年に生まれた種が丑年で育ち、成長して伸び始める状態を表すとされる寅年です。神谷まさゆきも、子年（令和2年）3月の定時評議員会で藤井基之先生の後継者として組織内統一候補に決定いただき、皆様のご支援に育まれていよいよ決戦の年を迎えました。皆様からいただきました温かいお気持ちを胸に、悲願達成を目指して虎のごとく勇猛果敢に力一杯頑張ります。

本年が皆様方にとって素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

1. Facebookページ『薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌』を公開しました。

右のコードから閲覧してください →



2. 神谷まさゆきのホームページを開設しました。

右のコードから閲覧してください →



3. 神谷まさゆきメールマガジンを開始しました。

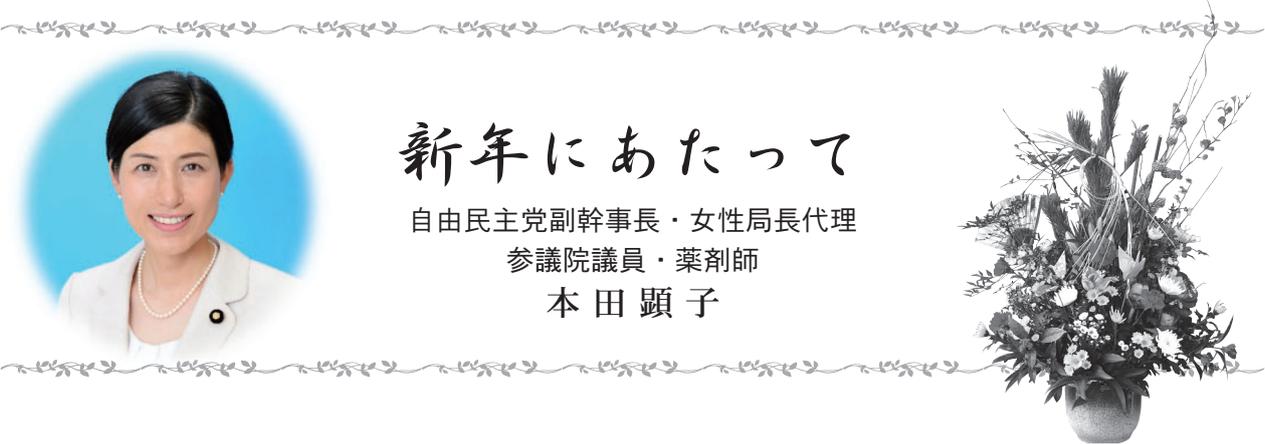
右のコードから登録をお願いいたします →



4. 神谷まさゆきのLINEアカウントを開設しました。

右のコードから登録をお願いいたします →





新年にあたって

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師
本田 顕子



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様のご支援により国政の場にお送りいただいてから2年半が経過致しました。初めての国会質問は令和元年11月の参議院厚生労働委員会における薬機法改正についての審議の時でした。その後、厚生労働委員会のみならず、災害対策特別委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会においても質問に立つ機会をいただきました。特に印象に残っているのは昨年5月の予算委員会における質問でした。テレビ中継もあったので大変緊張しましたが、総理大臣をはじめ8人の大臣から答弁をいただくことが出来たのは貴重な経験でした。

さて、一昨年に引き続き、昨年の国会も新型コロナウイルス感染症対策が中心的な課題となりました。予算委員会における私の質問も、迅速かつ的確なワクチンの接種事業の実施など新型コロナ対策が中心であり、特に総理には、重篤な感染症パンデミック等の緊急事態に対応できる法整備の必要性や国際的なパンデミックに対する安全保障上の観点からの取り組みの必要性について質問することができました。

新型コロナウイルス感染症については、ワクチンの接種率が国際的に見ても高い水準となっており、昨年9月末で緊急事態宣言等が解除され、通常の生活に戻りつつあります。しかし、海外の状況を見ても、第6波への警戒を怠るわけにはいかないと感じていたところ、新たな変異株であるオミクロン株の感染者が海外のみならず我が国でも発見され、厳格な隔離措置等が実施されています。

ところで、今年の夏には大きな戦いが行われます。輝かしい年となりますことを祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。





新年のご挨拶

参議院自由民主党政務審議会長
参議院議員・薬剤師
藤井 基之



新年明けましておめでとうございます。薬剤師会の会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は菅総理・総裁が退任して岸田文雄氏が自民党新総裁に指名され、岸田新内閣が発足しました。新内閣発足直後に実施された衆議院議員選挙は、新型コロナウイルス感染症により人々の生活や経済に大きな影響を与えた中での選挙となり、野党が候補者を統一したこともあって、自民党にとって厳しい戦いも予想されていましたが、結果的には単独で絶対安定多数を確保し、安定した政権運営を引き続き担えることとなりました。ご支援頂いた皆様方に改めて厚く御礼申し上げます。

総選挙後の自民党役員人事において、党の参議院政策審議会長を命じられました。新型コロナウイルス感染の再拡大防止や経済の再活性化等の直面する課題に対応するとともに、活力ある新しい時代を築くために全力で取り組んで参りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の第5波は収まりましたが、まだまだ予断を許すような状況ではありません。次の波に備え、ワクチン接種を進めるとともに、医療提供体制の拡充や国産ワクチン・治療薬の開発促進等の感染症対策を徹底していくことが最優先課題となっています。皆様方には、感染症の再拡大防止に引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

昨年は後発医薬品メーカーの薬機法違反に伴う業務停止、製品の自主回収や出荷調整等により、後発医薬品の供給が不足し、薬局等の医療関係者や医療を受ける患者さんの信頼を大きく損なうと

ころとなりました。国民が安心して医療を受けられるよう、関係者が一丸となって、医薬品の信頼回復に努めていくことが重要となっています。

改正薬機法については、昨年8月に認定薬局制度が施行され、薬局の機能に応じて「地域連携薬局」又は「専門医療機関連携薬局」と標榜することが可能となりました。患者さんの薬局選択の大切な手がかりを提供すると同時に、「患者のための薬局ビジョン」に示された、薬局のかかりつけ機能や高度管理機能をより具現化するものとなり、薬剤師・薬局への一層の信頼向上につながるものと期待しています。

また、医療機関においては、医師から他職種へのタスク・シフティング/シェアリングの取組が進められています。チーム医療における薬剤師業務の拡充を図るとともに、必要となる薬剤師の員数を確保する取組を推進していくことが重要となっています。

今年は2年に1回の診療報酬改定、薬価改定の年にあたります。薬価については、骨太の方針2021に示された考え方を十分に踏まえ、革新的な医薬品のイノベーションの評価及び長期収載医薬品等の適正評価を行い、透明性・予見性の確保された見直しが行われるよう努めて参りたいと思います。

貴会会員の皆様方の益々のご活躍にご期待申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>



年頭ご挨拶

衆議院議員
國場 幸之助



新年あけましておめでとうございます。

沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、令和4年の初春をお健やかに迎えの事と心からお慶び申し上げます。皆様には私の国会活動等へのご理解とご支援を賜り、感謝の念に堪えません。今日、私が国政の務めを担えるのは、貴会会員ならびに薬事業界の皆様のおかげでございます。年頭に当たり衷心より御礼申し上げます。

さて、年頭より新型コロナウイルスの感染が急拡大し、沖縄県内では感染者数が過去最多を更新する日々が続くなど、新たな局面に入り、余談を許さない状況が続いております。

兼ねてより県民の命と健康を守るために日夜ご奮闘されております薬剤師の皆様に対し、心から敬意を表します。

現在感染が拡大している「オミクロン株」は、感染力が高い一方、重症化率が低い傾向にあるとの分析から、軽症者、無症状者の自宅で療養できる体制を整えることが示されました。ワクチンの3回目の接種の迅速化にも引き続き努めて参りますが、薬剤師の皆様には、医療における県民にとって身近な専門家として、感染症対策をはじめ、健康維持増進のために、引き続きご尽力を賜りますことをお願い申し上げます。特にコロナ対策においては、皆様の存在がますます重要なものとなりますが、皆様のご尽力があつてこそ、直面する国難を克服していけるものと強く実感しているところでございます。

岸田総理が「デジタル田園都市構想」を掲げ、コロナ禍における社会環境の変化に対応

すべく、様々な分野でデジタル化、オンライン化を進める方針が打ち出されております。薬剤師に関係する分野では、電子処方箋管理サービスの円滑な導入として、電子処方箋の安全かつ正確な運用に向けた環境整備、データヘルス改革を見据えた次世代型お薬手帳の活用の推進などについて予算案に盛り込まれました。マイナポータルとの連携も見据えた、データヘルス改革の動きを踏まえつつの、一般用医薬品等の情報の効率的な把握・管理の方策、今後活用が期待される機能についての調査、薬局・店舗販売業等における効果的な活用方法が検討されて参ります。ほかにも、全国の薬局情報を全国統一的に管理するシステムの運用等が進められることになるなど、ひとつの変革の時期を迎えることとなります。業界内の変化対応や、利用する市民の方々への個別対応などについて、皆様方とこれからは綿密な意見交換を重ねながら、随時対応に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

また、薬剤師人材の確保、育成について、良質のサービスには、継続的に良質の人材を確保し、現場に投入していけるよう、薬学部創設など、人手不足、担い手不足や、事業継承に関する強いご要望に対しましても、引き続き貴会と力を合わせ、取り組んで参ります。

結びになりますが、貴会の益々のご発展と、会員の皆様方の益々のご清栄とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

復興大臣・内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)
衆議院議員
西銘 恒三郎



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の第49回衆議院総選挙には、沖縄県薬剤師会の皆様のご支援ご協力のもと六期目の当選を果たすことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

同時に、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった一年となりました。特に、昨夏の第5波の感染拡大においては、本県における緊急事態宣言の発出期間は約4か月に及び、医療提供体制や県民の生活に甚大な影響を及ぼしました。昨年12月には、本県でも、新たな変異株であるオミクロン株の市中感染が確認され、その後も感染の急拡大が見られており、引き続き、最大限の警戒が必要な状況が続いております。

このような先の見えない状況下で、薬剤師の皆様におかれては、調剤、服薬指導等の通常業務のみならず、医薬品提供体制の維持・確保や新型コロナワクチン接種の補助等にもご尽力いただいております。県民の安心・安全な暮らしの確保に対する皆様の献身的な取組に対し、改めて深く敬意を表します。現在、3回目となる新型コロナワクチン接種も順次開始されておりますが、平穏な日常を取り戻すため、引き続き皆様のお力添えを賜りたく存じます。

少子高齢化が進展する中、コロナ対応だけでなく、持続可能な医療提供体制の構築に係る取組も進めていかなければなりません。薬事に関しては、地域医療構想や地域包括ケ

アシステムの実現に向け、薬局や薬剤師かかりつけ機能の推進・強化が図られております。加えて、オンライン診療・服薬指導に係るルールの見直しに向けた検討が進められており、さらに、2023年からは、電子処方箋システムの運用が開始される予定となっています。令和4年度の診療報酬改定では、処方箋の反復利用を可能とする「リフィル処方箋」も導入されます。こうした規制緩和やデジタル化の流れにより、今後、薬局や薬剤師の業務にも大きな変化が生じることが予想されますが、薬剤師の皆様におかれては、時代とともに変化する社会のニーズを確実に捉え、地域の医療提供体制の中で益々重要な役割を果たされるものと期待しております。

当然ながら、そのためには、薬剤師の皆様が職能を十分に発揮していただける環境整備も欠かすことができません。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策等により、薬局などの経営に大きな負担が生じているものと承知しており、こうした状況も含め、今後も、薬局や薬剤師の皆様に対し、必要な支援が適切になされることが大変重要であると考えております。

また、沖縄県は、人口10万人当たりの薬剤師数が全国最下位、かつ県内に薬科大学や薬学部が設置されていないという構造的な問題を抱えており、人材確保に対する取組も着実に進めていかなければなりません。

本年は、沖縄県の本土復帰50年を迎える節目の年となります。県民の健康な生活の確保に向け、皆様の御意見を伺い一層尽力してま

いる所存です。

結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息とともに、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と関係各位のご健勝を心から祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

令和4年正月



お知らせ

沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧ください！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawayakuren/>



ご挨拶

衆議院議員
宮崎 政久



新年あけましておめでとうございます。

前濱会長をはじめ、沖縄県薬剤師会の皆様、ご関係のすべての皆様におかれましては、お健やかに新たな年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、貴会ならびに会員の皆様からひとかたならぬご支援ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が全国で少し収束したかと安堵したのもつかの間、変異株の出現で、沖縄でも感染者の増加が続いています。この厳しいコロナ禍におきまして、県民の生命を守るため、最前線でお仕事をしておられる薬剤師会の皆様をはじめ、エッセンシャルワーカーの皆様に心から感謝申し上げます。

変異株の出現などコロナ禍が収束するまでにはまだ時間を要する状況ですが、3回目のワクチン接種の開始に向け、政府を挙げて対応しているところです。ワクチンの円滑な接種を進めるための環境づくりには、薬剤師の皆様の協力なくしてできません。一日も早いコロナ禍の収束に向け、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

しかしながら、こうした状況において、医薬業界を取り巻く環境には引き続き厳しいものがございます。これまでは、消費税の増税や薬価の改定等が薬局等の経営に大きな影響を与えるため問題となっておりました。加えて、コロナ禍においては、外出自粛要請より、これまでは受診していたような症状が出て受診を控えようという心理が働き、医療機関

や薬局の患者数は大幅に減少しております。その一方で、薬局は、医療機関と同様の医療提供施設ですので、患者数が大幅に減少しても休業することができません。薬を必要とする方々に対し、しっかりと感染節対策を講じた上で、必要な医薬品を提供し続けなければならないのです。いわゆる「調剤応需義務」です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大時においても、県民の皆様が必要とする医薬品を安心して、かつ確実に入手できるよう、薬局の経営を安定させるとともに、薬剤師の皆様の生活を安定させ、ひいては、県民の皆様へ安全安心な生活を届けることも、政治家の責務の一つと考えております。この責務をしっかりと果たすことができるよう、私も、現場のおかれた実情を理解し、薬剤師の皆様のご意見やご要望をしっかりと受け止め、皆様のご意向に沿えるよう全力を尽くして職務にあたる所存です。皆様におかれましても、引き続き、県民の健康を支えていただくとともに、県民の医療福祉の向上のため、ご貢献いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年も変わらぬ御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、前濱会長はじめ役員の皆様、そして会員の皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

令和4年1月吉日



新年のご挨拶

衆議院議員
島尻 安伊子



令和4年の新春を寿ぎ謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

沖縄県薬剤師会会長 前濱朋子先生はじめ薬剤師会会員の皆様におかれましては、医療の担い手としての高い倫理観と職能技術に基づく使命感をもって、薬事衛生業務に取り組み、県内の公衆衛生の向上及び増進に貢献され、また県民の健康で安心安全な生活を確保することにも日頃からご尽力いただいておりますこと、心から感謝と敬意を表します。

昨年举行されました第49回衆議院議員総選挙におきましては、わたくしも沖縄3区で初当選を果たし、5年半ぶりに国政の場に復帰することができました。これも偏に、苦しいときも変わらず支え続けてくださった前濱会長はじめ沖縄県薬剤師会の皆様のおかげであると、心から御礼を申し上げる次第です。誠にありがとうございました。

さて、昨年未やっと明るい兆しが見え始めた矢先、年明けからの新型コロナウイルス、オミクロン株の市中感染が全国各地で拡大しました。特に沖縄の感染者数は他県に比べて急増、最高レベルの警戒が必要となっています。政府も沖縄・山口・広島3県に対し、1月末までの「まん延防止等重点措置」の適用を決定し対策に乗り出しました。

一昨年来、新型コロナウイルスが猛威を振るってから観光立県沖縄は大きな打撃を受けました。政府は感染力の強いオミクロン株に対し3回目のワクチン接種を決め、医療従事者と高齢者の接種前倒しを加速させ、3月以降予定の一般向け接種も前倒しして実施する意向です。

スムーズなワクチン接種には、薬剤師の先生方の存在が欠かせません。薬液の調製と充填など接種補助作業は薬剤師しかできない重要な任務です。更に予診票の記入サポートも非常に大切で、接種者の基礎疾患の有無や薬アレルギーの有無、当日の体調などの情報を正確に伝えなければなりません。

また感染の急拡大で、入院できず自宅などで療養する人たちを地域の薬局が支えており電話相談や服薬指導など、薬を通して地域医療を支えている現実があります。不安を抱えている自宅療養者にとっては、薬剤師の正しい情報で不安を和らげてくれる心強い「頼みの綱」となっています。

そのような薬剤師の皆様を取りまく状況を少しでも改善していくために、国政の場で「ぬちかじり」全力をつくして参ります。

これまで、沖縄県薬剤師会より、県内大学への薬学部設置等の要請を度々受けております。今後も様々な感染症や疾病に対応できる体制を整えることは極めて重要です。関係省庁ともよく相談をしながらも、一日も早く要請にお応えできるように努力していく所存です。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願い、沖縄県薬剤師会の更なるご発展と前濱会長はじめ貴会の皆様のご健勝とますますのご活躍を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

衆議院議員
比嘉 奈津美



あけましておめでとうございます。

沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、薬の専門家として県民の健康増進のため、ご尽力されておりますことに深く敬意を表します。

一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の影響により、県民は外出自粛を余儀なくされ、会議や会食はリモートが主流となりました。閑散とした街を歩く中であっても、人々は皆マスクを着用するなど、生活様式が一変しました。

昨年、東京2020オリンピック・パラリンピックが閉幕した後、感染者数が落ち着きを見せ、日本中の人々が胸をなで下ろした矢先、突如として新たな変異株「オミクロン株」が出現により、1日あたりの新規感染者数が過去最多を更新するなど、「オミクロン株」の猛威は瞬く間に県内に広がり、医療逼迫の懸念が高まっています。

こうした状況下であっても、薬剤師の皆様におかれましては、薬局での感染防止に取り組みながら、県民へ薬学的知見に基づく支援や情報提供を行い、必要な薬を絶え間なく地域住民へ供給し続けるなど、地域の医薬品提供体制を維持していただいています。

新型コロナウイルスとの戦いは、経口薬の登場により、新たな局面を迎えようとしています。医師の方々と地域の薬局が連携し、患者の下へ速やかに治療薬を届けることが重要となってきます。コロナ禍であっても、薬剤師の皆様が安心して働けるような環境作り

に、国政の場でしっかり取り組んでまいる所存でございます。

「人生100年時代」を見据え、地域において切れ目のない医療・介護サービスを提供できる体制を充実させることが課題となっています。そのような中で、薬剤師、薬局が果たす役割への期待は非常に大きなものがあります。

薬の服用に関しては、複数の持病をお持ちの方が、多くの種類の薬を処方され、その薬を一度に服用した結果、副作用を生じてしまう問題や、処方された薬を飲み忘れたり、自己判断で服用を中止してしまうなどの残薬問題が指摘されています。特に高齢者は身体各機能が衰え、体調も変わりやすいため、薬の効果も人によってまちまちです。こうした様々な問題を防ぐには、患者それぞれの体調に応じて、薬の種類や用量を慎重に見極める必要があることは言うまでもありません。その中で、薬について誰よりも熟知されている薬剤師の皆様が、医師の方々などと連携し、患者の服薬を管理していただくことは、県民が地域で安心して暮らしていくために欠かせないものであります。

また、薬の名前や用法等に関する情報を過去のアレルギーや副作用の経験の有無と併せて経時的に記録する「お薬手帳」の普及も進み、調剤薬局では処方箋と一緒に提出する患者の姿を見かけることが多くなりました。近年では、電子版のお薬手帳の利用も進み、薬局で一元的にその電子お薬手帳の情報を閲覧できる「電子お薬手帳相互閲覧サービス」も提供されていると伺っております。こうした取組

も含め、今後も「お薬手帳」の利用しやすい環境づくりを推進していく必要があります。

私も皆様と同じく医療人としての歩みを基に、参議院議員としての務めを果たしているところでございますが、かかりつけ薬剤師・薬局、また、セルフメディケーションの推進といった取組を円滑に進めていくことが、今後の医療界にとっても重要課題であると認識しております。

そのためには、薬の専門家である皆様のお力が不可欠でございますので、今後とも皆様のご意見を賜りながら、国政活動に邁進してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、沖縄県薬剤師会の益々のご発展、皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、私からの年頭のご挨拶といたします。





新年のご挨拶

沖縄県議会議員
新垣 淑豊



令和4年、あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

前濱朋子会長をはじめとする沖縄県薬剤師会会員、関係者のみなさまにおかれましては、一昨年より新型コロナウイルス感染症の対応含め、日頃の調剤・服薬指導など沖縄県民の命と健康を守り、医療体制の維持・確保に対し御尽力いただいておりますこと誠にありがたく存じます。また、平素より私ども沖縄県議会に対しましても様々なご提案をいただき、その中から私どもも常に学びをいただいております。この点におきましても心より感謝いたします。

特に、かねてから課題となっている薬剤師の確保については、昨年度の令和2年度から沖縄県薬学部設置可能性等調査業務がスタートし、令和3年度には県担当課と県内大学との細かな意見交換もされたと聞いております。沖縄県は出生率も高く、豊かな資質を持つ子どもたちが数多く誕生しています。しかしそんな中、経済的な課題も含め家庭の事情などで県外への進学を諦める子もいます。その中においては県内に無い薬学部への進学を希望する生徒もいるのではないのでしょうか。子どもたちの将来の選択肢を広げるためにも県内の国公立大学への薬学部設置は必要であると痛切に感じています。

また、沖縄県は島嶼県であり、有人島の中でも他の島と陸続きではない離島が多くあります。陸続きでないだけに、それぞれの島での医療体制を独自に構築する必要がありますので、同規模人口の他県以上に医療人材が必

要であると考えられます。加えて、現在進められている地域包括ケアシステムを遂行していく環境を向上させるためにも継続的な人材の確保と育成は重要であります。

薬学部の設置は将来的に県内の琉球大学医学部や県立病院を始めとする医療機関との研究連携や今後進んでいくデジタル化も合わせ創薬やその他医療的な技術進歩など沖縄県からの発信にも寄与するものであると期待が持たれます。私も県議会議員として議会の場でこの県内国公立大学への薬学部設置についての議論をさせていただきました。このことが県民の皆様への課題の周知と薬学部設置の機運を高めることに繋がることだと思いますので、今年も積極的に議会ならびに私の所属する文教厚生委員会においても取り上げてまいります。

また、昨年末から沖縄県でも大流行となっている新型コロナウイルス対応においても、海外、国内でも抗ウイルス経口薬の承認（特例含む）もなされていると伺っております。医薬業界の皆様にはこの感染症流行の収束に向かって対処いただきながら、同時に全県民の力を合わせて、この傷ついた沖縄県経済の立て直しも図っていかねばなりません。我々も全力で取り組んで参りますので、本年も貴会からの変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますことお願い申し上げます。

結びになりますが、今後の沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、会員・関係者のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、年初のご挨拶とさせていただきます。

新年賀謹

昨年はい運営にご理解ご協力を賜わりお礼申し上げます。
皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

法社一
人団般

沖縄県薬剤師会

相談役 新垣正次 神村武之

亀谷浩昌

監事 江夏京子 山里 勇

會長 前濱朋子

副會長 中村克徳 村田美智子

川満直紀

常務理事 金城雄一 佐藤雅美

西川 裕 宮城幸枝

盛本直也

理事 浅沼健一 阿部義則

石川恵市 上原卓朗

幸地良信 古謝真己

島袋さゆり 知名博樹

名嘉紀勝 姫野耕一

吉田典子

仲宗根鳴香

宮里威一郎

城間盛光

吉田典子

小泉宝之

他職員一同

沖縄県薬剤師連盟

沖縄県藤井もとゆき薬剤師後援会

沖縄県本田あきこ後援会

沖縄県神谷まさゆき後援会

會長 前濱朋子

幹事長 石川恵市

他役員一同



よみがえれ！首里城

沖縄学術大会 第34回沖縄県薬剤師会学術大会開催

日時：令和3年12月19日（日）13:00～17:10

会場：沖縄県薬剤師会館ホール・WEB配信



大会実行委員会
委員長 潮平 英郎

12月19日（日）、WEBに於いて「県民の健康に関わる地域に根ざした薬剤師」をテーマに第34回沖縄県薬剤師会学術大会が開催された。今回はコロナ禍であることをふまえ、WEB参加型の開催とし、演者や大会関係者以外はオンラインでの参加となった。今大会の参加者は181名であった。

川上雄一朗大会実行委員の司会進行のもと、中村克徳大会副会長の開会の辞で開幕した。続いて前濱大会会長から「このコロナ禍で、いわゆる0410事務連絡による特例措置として、オンラインによる診療・服薬指導が認められた。今後の診療・服薬指導のオンライン化普及を加速するものと考えられ、服薬後の薬学的ケアもより実施しやすくなっていくだろう。また、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局という2つの機能別薬局の役割や特徴が明確になっていくことから、患者からの期待に応えられるよう、薬剤師としてのさらなる研鑽も不可欠になってくる。と挨拶があった。

会員発表の部では、大会実行委員の知名博樹、友愛医療センターの三田井菜菜子の2氏が座長を務め、病院薬剤師関連から4演題、保険薬局・その他部会関連から5演題の合計9演題の発表が行われた。

特別講演では、ファルメディコ株式会社代表取締役社長の狭間研至氏に「CIPPSを乗り切るための3つのアクション～薬剤師のFAFが切り拓く薬局の未来～」の演題で、ご講演いただいた。その他、最新の自動調剤ロボット機器や調剤支援技術ソフト等13社の協賛企業の広告放映があった。最後に、金城雄一大会副実行委員長の閉会の辞で盛会のうちに幕を閉じた。

コロナ禍において社会のオンライン化が加速する中、本学術大会も初のWEB開催となった。数年前までは予測すらできなかった状況であり、薬剤師もコロナ禍を契機とした一つのパラダイムシフトを迎えていることは間違いない。新しい時代に対応するためには、常に世の中の進歩を吸収し、変化に対応し続けることが求められる。引き続き、薬剤師としての研鑽を継続され、その成果の活発な発表を期待したい。

最後に、ご協力をいただいた座長や演者の先生方、協賛をいただいた企業と沖縄県薬剤師会事務局ならびに大会運営スタッフの皆様に、心より感謝申し上げたい。

**第34回
沖縄県薬剤師会学術大会**

＜講演要旨＞



**県民の健康に関わる
地域に根ざした薬剤師**

会期：令和3年12月19日（日）
会場：WEB開催

要旨集表紙

第34回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム

開 会 13:00 ～



- 開会の辞
第34回学術大会
副会長 中 村 克 徳
- 会長挨拶
第34回学術大会
会 長 前 濱 朋 子



司会 第34回学術大会
実行委員
川 上 雄 一 朗



座長 第34回学術大会
実行委員 知 名 博 樹

I 会員発表（午前の部）

◎演題番号 1 ～ 5 13:10～14:00



1. こくら虹薬局における小児科在宅医療の服薬管理
～アンケート調査からみた問題点と対策～

沖縄健康企画 こくら虹薬局 ○饒平名 千 春 久手堅 奈 央
兼 城 明 子 上 原 幸 代



2. 患者ニーズに対応したヘルスケア手帳と電話フォローの有用性

そうごう薬局 新赤十字前店¹⁾ ○西 川 裕¹⁾ 榎 原 真 紀¹⁾
豊見城店²⁾ 南 雲 翔 太²⁾ 富 永 知 志²⁾
壺川店³⁾ 杉 浦 莉 奈³⁾
浦添当山店⁴⁾ 下 地 利 奈⁴⁾ 玉那覇 アリサ⁴⁾



3. 高齢者薬物治療における保険薬局薬剤師の介入事例

すこやか薬局グループ ○比 嘉 浩 一 金城 奈々美
屋 良 愛 寺 本 奈都子
宇地原 萌 三 上 幸 枝
藤 田 敦 子 坂 本 政 文
比 嘉 朋 子 喜屋武 芳 美
佐 藤 雅 美



4. 学校薬剤師として関わった感染症対策について

～食中毒や新型コロナウイルス感染症対策にむけた取組の報告～

学校薬剤師部会 ○新 垣 紀 子



5. 令和2年度薬学部設置可能性等調査について

沖縄県 保健医療部 衛生薬務課 ○津 波 昭 史 中 村 章 弘
池 間 博 則 新 城 光 雄

休憩・広告放映 (休憩の合間にご覧下さい。)

14:00～14:15

◎演題番号 6～9

14:15～14:55

座長 社会医療法人友愛会
友愛医療センター
三田井 菜菜子



6. スポーツファーマシストを介さないアンチドーピング活動とその実態

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

薬剤部¹⁾ ○糸 満 盛 尚¹⁾ 浜 元 善 仁¹⁾
スポーツ・関節外科センター²⁾ 石 塚 光太郎²⁾ 大 城 朋 之²⁾
翁 長 真一郎¹⁾



7. 発作性心房細動患者におけるワルファリンとアミオダロン薬物相互作用の一例

琉球大学病院

薬剤部¹⁾ ○比 嘉 万里奈¹⁾ 潮 平 英 郎¹⁾
第三内科 (循環器・腎臓・神経内科学)²⁾ 勝 連 英 亮²⁾ 岩 渕 成 志²⁾
琉球大学医学研究科薬物治療学³⁾ Jose Carlos S Tayag³⁾ 中 村 克 徳^{1, 3)}



8. 当院COVID-19治療における病棟薬剤師の役割

那覇市立病院 薬剤部 ○宮 平 恵 里 嘉 数 明 佳
比 嘉 大 輔 呉 本 裕 介
新 垣 慎 太 郎 金 城 雄 一



9. 薬剤師による血糖管理を中心としたTPN処方モニタリングの効果

社会医療法人友愛会
友愛医療センター 薬剤科 ○大宜見 真 希 上 原 千 晶
吾 津 千 秋 國 分 千 代

休憩・広告放映（休憩の合間にご覧下さい。）

14:55～15:10

II 特別講演 15:10～16:40

CIPPSを乗り切るための3つのアクション～薬剤師のFAFが切り拓く薬局の未来～

講師：ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間 研 至
座長：琉球大学病院 薬剤部長補佐 潮 平 英 郎



<講師プロフィール>

狭間 研至 (はざま けんじ)

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長。医療法人嘉健会 思温病院理事長。

平成7年に大阪大学医学部卒業後、外科・呼吸器外科診療に従事。平成12年には大阪大学大学院にて異種移植をテーマとした研究および臨床業務に携わる。平成16年に同修了後、現職。医師、医学博士。

現在は、医師として診療を行うとともに、薬剤師生涯教育や薬学教育にも取り組んでいる。



III 演題発表認定証授与・大会奨励賞審査結果発表および授与式 16:40～17:00

- 演題発表認定証授与 第34回学術大会 実行委員長 潮平英郎
- 審査結果発表 第34回学術大会 副実行委員長 中尾滋久
- 奨励賞授与 第34回学術大会 会長 前濱朋子

潮平英郎大会実行委員長より発表者全員に演題発表認定証が授与された。続いて、中尾滋久大会副実行委員長より、大会奨励賞審査結果発表が行われた。

今大会の大会奨励賞は、保険薬局・その他関連部門では、そうごう薬局新赤十字前店の西川裕氏による「患者ニーズに対応したヘルスケア手帳と電話フォローの有用性」、病院

薬剤師関連部門には、友愛医療センターの大宜見真希氏による「薬剤師による血糖管理を中心にしたTPN処方モニタリングの効果」がそれぞれ選ばれた。

選出された2氏には、前濱朋子大会会長から賞状と副賞が授与された。

(報告：事務局 金城 佳樹)



発表者9人に認定証を授与し、中尾滋久大会副実行委員長が審査結果発表を行った。



奨励賞受賞者
受賞の喜びを語る西川裕氏と大宜見真希氏

<協賛会社>

- アース製薬(株)
 - (株)I T Sシステム
 - (株)E Mシステムズ
 - 沖縄県医薬品卸業協会
 - (株)タカゾノ
 - ダンヘルスケア(株)
 - 中外製薬(株)
 - (株)トーショー
 - ニプロ(株)
 - ノボルディスクファーマ(株)
 - 扶桑薬品工業(株)
 - 持田製薬(株)
 - (株)ユヤマ
- (五十音順)



- 閉会の辞
第34回学術大会 副実行委員長 金城 雄一

沖縄学術大会

< 会員発表審査報告 >



大会実行委員会
副委員長 中尾 滋久

保険薬局・その他関連部門では、保険薬局より3演題、部会より1演題、行政より1演題の発表でした。

奨励賞は、西川裕氏の発表された「患者ニーズに対応したヘルスケア手帳と電話フォローの有用性」を選定しました。選考理由は、この取り組みは薬剤使用後の患者の状況を医師と共有することで、より一層効果的な薬物治療を行なうことが可能となる。このような取り組みはどの薬局でも行なう必要がある。その共有方法について知見を広げることができた。ということでした。薬剤使用期間中の患者フォローアップは、薬剤師の基本業務となっています。また、2015年10月に厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」でも言及されているところであり、決して新たな概念ではありません。しかしながら、薬剤師法・薬機法に規定されたのは、患者が安全・安心に薬を使用する上で薬剤師による当該業務が極めて重要である一方、現在の取り組みにおけるある種の曖昧さや個々の薬剤師の資質による差が生じている可能性があります。このような背景より、日本薬剤師会でも手引きを作成していますが、この発表は実際に店舗で行っている内容でどのように行っているかを提示していただきました。審査員から、「もう少し具体的な内容を伝えていただきたかった。」という声もありました。

病院薬剤師関連部門では、4演題の発表でした。奨励賞は、大宜見真希氏の発表された「薬剤

師による血糖管理を中心としたTPN処方モニタリングの効果」を選定しました。選考理由は、「日常業務の中で点滴治療を行なっている施設はとも参考になる内容。」とのことでした。栄養サポートチーム加算の算定条件として構成員に薬剤師が必須です。また、入院時支援加算や早期栄養介入管理加算を算定する場合、栄養管理に関して関係職種と十分連携を図ることとなっていますので、今まで以上に薬剤師は栄養状態の把握が必要となります。また、保険薬局薬剤師も在宅治療での高カロリー輸液管理の需要が高まっている中、とても重要な考え方や取り組みについて発表していただきました。処方提案を行い症状の改善が認められた症例もあり、栄養に関しても薬剤師が関与する意義についてご提示いただきました。今回の4演題に対して、審査員から、「Q&Aを想定した発表スキルの向上をお願いしたい。」とのコメントがありました。

最後に、演題を発表された皆様とご施設の皆様におかれましては、この経験したことのない状況の中で日々の業務で感じる疑問や取り組みについてご発表いただき、審査員全員が感謝しております。どの発表も素晴らしい内容で業務の参考になる内容とのことでした。

来年はもっとたくさんのご施設から今後の業務に役立つ発表で学術大会を盛り上げていただければと思います。

< 会員発表審査会 >

後列：病院薬剤師関連部門審査員

左より、名嘉紀勝氏、姫野耕一氏、川平浩子氏

前列：保険薬局・その他関連部門審査員

左より、川満直紀氏、村田美智子氏、盛本直也氏



<保険薬局・その他関連部門奨励賞受賞発表要旨>

2.患者ニーズに対応したヘルスケア手帳と電話フォローの有用性

そうごう薬局 新赤十字前店¹⁾ ○西 川 裕¹⁾ 榎 原 真 紀¹⁾
豊見城店²⁾ 南 雲 翔 太²⁾ 富 永 知 志²⁾
壺川店³⁾ 杉 浦 莉 奈³⁾
浦添当山店⁴⁾ 下 地 利 奈⁴⁾ 玉那覇 アリサ⁴⁾

【目的】

2020年9月の医薬品医療機器等法の改正に伴い、沖縄ブロックでは2020年のフォーラムで「患者フォローのフォロータイミング検証」というテーマを掲げ、電話を用いた服薬フォローに取り組んだが、応答がないためフォローができないというケースがあった。要因としてフォローツールとして使用していた電話の時間・場所に縛られるという特徴が考えられたため、利用推進しているヘルスケア手帳のメッセージ機能を用いることでこの問題の解消につながるのではないかと考え、服薬フォローにおけるその有用性の検討を行った。

【方法】

取り組みスキームを作成後、ブロック内で周知したのち、本格的にヘルスケア手帳を用いた服薬フォロー実施した。ヘルスケア手帳の利用者に対してはメッセージ機能を用いて行い、そうでない場合は従来通り電話を用いてフォローを行った。集計期間は2021年3月から5月。①フォロー件数、②年代別件数、③フォローツール別応答率を集計し、これらのデータをもとに評価をおこなった。

【結果】

- ①フォロー件数は昨年度の同時期が52件だったのに対し、今年度は194件と大きく増加した。また各月約10件から20件のヘルスケア手帳による服薬フォローが行われていた。
- ②年代別件数はフォロー件数の結果から10代から30代までのフォローは約40%がヘルスケアによるものだった。
- ③フォローツール別応答率は電話の応答率が約87%だったのに対して、ヘルスケア手帳の応答率は76%であった。

【考察・展望】

今回の取り組みによって服薬フォローにおけるヘルスケア手帳のツールとしての有用性は十分に示せたと考えている。また、実際の事例を見ていく中でヘルスケア手帳が時間や場所に縛られない服薬フォローのできるツールであることが示すことができたように感じる。ただしまだ患者のヘルスケア手帳による服薬フォローの認知は低いため声掛けの強化や十分な説明が必要だということも分かった。今後は患者に適したフォローツールで服薬フォローを行うことにより、より多くのフォローが実施できるのではないかと推察される。このように患者情報を継続的に把握することによって医薬品の適正使用の担保につながるのではないかと考えている。

<病院薬剤師関連部門奨励賞受賞発表要旨>

9.薬剤師による血糖管理を中心にしたTPN処方モニタリングの効果

社会医療法人友愛会 友愛医療センター 薬剤科 ○大宜見 真 希 上 原 千 晶
吾 津 千 秋 國 分 千 代

【目的】

豊見城中央病院（現、友愛医療センター）外科病棟の中心静脈栄養（TPN）施行患者において第34回の日本臨床栄養代謝学会で静脈経腸栄養ガイドラインの推奨と乖離があることを報告した。（2016年7月～2017年8月；定期血糖測定患者の割合37%、糖の平均投与速度4.9（最大10.5）mg/kg/minなど）その後外科医師と現状を共有の上、糖尿病内科医師の助言を基に薬剤師によるTPN処方モニタリングを開始したため、モニタリング状況と介入内容について報告する。

【方法】

2019年6月から外科病棟のTPN施行患者を毎日抽出、モニタリングシートを用いて処方、血糖・検査値・体重の推移を確認し、適宜医師に提案を行った。そのうち2019年6月から2020年6月までの患者を対象に年齢、性別、TPN施行期間、血糖測定有無（測定回数）、糖の投与速度、エネルギー投与量、医師への提案内容を後方的に調査した。BMIが25kg/m²を超える場合は理想体重に補正した。

【結果】

対象患者は55名（男性35名、女性20名）、平均年齢68.1歳、平均TPN施行期間は9.6日であった。医師への提案は113件、そのうち血糖管理に関するものは、①定期血糖測定開始・終了・回数減18件、②輸液速度の増減7件、③インスリン混注開始・量の増減4件だった。結果として定期血糖測定を行った患者は50名（90%）、平均血糖測定回数は3.7回/日、糖の平均投与速度は2.7mg/kg/minだった。経口経腸栄養を除く輸液における平均エネルギー投与量は22.3kcal/kgだった。間欠投与から持続投与にすることで血糖値が安定した症例、糖の投与速度を低下することで肝酵素が低下した症例も見受けられた。

【考察】

薬剤師がTPNモニタリング業務を行うことで、血糖管理についてガイドラインの遵守に貢献できた。今後は必要栄養量の充足のため、管理栄養士や多職種との連携を強化しながらTPN施行患者全員のモニタリングができるような体制を構築していきたい。

保健・福祉

令和3年度第1回栄養管理に関する研修会

日時：令和3年12月21日（火）19:30～21:00

場所：沖縄県薬剤師会館研修室およびWeb（Zoom）

<研修内容>

「栄養障害とフレイルについて」

株式会社 薬正堂 すこやか薬局グループ 管理栄養士 比 嘉 純

「在宅栄養療法について」

認定栄養ケア・ステーション すこやか野嵩店 管理栄養士 佐久川 碧

去る12月21日に、株式会社薬正堂すこやか薬局グループの管理栄養士である比嘉純先生、佐久川碧先生を招き、栄養管理に関する研修会が開催されました。

はじめに、比嘉純先生の方から『栄養障害とフレイル』について講演が行われました。栄養障害の病態生理と代表的な治療（対応）法、低栄養の分類と特徴、フレイルの評価方法、サルコペニアの診断基準等を詳しく説明していただきました。

低栄養の影響でフレイルの悪循環になることがあり、サルコペニア（筋力低下）などで転倒、骨折のリスクが上がり、生活機能障害になり要介護状態となっていくケース、また、身体活動の低下、歩行速度の低下、生活機能障害へとつながり要介護状態になっていくケースがあることが分かりました。フレイル・サルコペニアに対する栄養療法としては



保健・福祉委員会
松本 圭五

4つあり、○生活強度に合わせた適正なエネルギー摂取、○タンパク質は十分な量を摂取（目安1.2g/kg）、○不足しやすいビタミンD、カルシウムを意識して食生活に取り入れる、○運動との組み合わせで、筋力の異化亢進を防ぐことが分かり患者への指導に活かしていきたいと思いました。また、低栄養の患者向けに経口補助食品の紹介もしていただき、スタンダードではメイバランス等、リハビリに特化した栄養補助食品はリハデイズ等の種類があることがわかり、薬局で患者さんのフレイル防止のアイテムとして紹介できるのではないかと感じました。

疾患別低栄養のことで今回は慢性疾患について5項目、①COPD、②糖尿病、③慢性肝疾患、④慢性腎臓病、⑤がん悪液質などについて、食事制限もある中でいかに栄養状態の低下を防ぐことができるか、疾患別の栄養療法のことを教えていただきました。その中で、食形態の栄養の違いとしてびっくりしたのが、風邪等で食欲が落ちている高齢者がおかゆを食べているとよく聞くことがあると思います。ごはん100gで約160kcal、おかゆ100gで80kcalで80kcalのおかゆを1か月続けると



講師を務めた管理栄養士の
佐久川碧氏（左）と比嘉純氏（右）

-7200kcalになり体重が毎月1kg減る可能性が有ることに驚かされました。食形態の違いでも低栄養のリスクになっていくことが分かりました。

最期に、比嘉先生のまとめとして、病態を念頭におきながら、生活状況等の背景を加味し低栄養のリスクに気づくことが大切。患者が自分らしく、元気に今の生活を続けられるよう支援することが大切とのことでした。また、慢性疾患での低栄養状態の改善が、病態の悪化を防ぎ、QOLを向上させることが改めてわかる内容でした。

次に、佐久川碧先生の方から『在宅栄養療法について』の講義が行われました。在宅療養者の現状や、在宅栄養療法の種類について詳しく説明していただきました。

在宅栄養療法の種類としては大きく2つ、経腸栄養と経静脈栄養に分けられ、特徴としては、○経腸栄養・経静脈栄養に比べて代謝合併症のリスクが少ない、○消化管の健全性と機能性を維持できる、○十分な栄養量を確保できるとのことでした。

また、経静脈栄養・消化管が機能していない場合に用いる、○代謝合併症、脂質欠乏、感染症などに注意とのことでした。

次に、栄養介入症例として小児在宅の患者の話があり、経腸栄養剤を服用中だが嘔吐を繰り返し、うまく服用できず、なかなか体重が増えないという症例でした。まずは、介護者、お母さん、家族から詳しい話を伺い、検討してアドバイスし、嘔吐の原因が脂質にあ

るかもしれないとのことで消化しやすい中鎖脂肪酸の栄養剤に変更。それで嘔吐が減り、体重増加、低栄養の改善につながったとのことでした。また、そのご家族の方との会話、コミュニケーションをはかることが、ご家族の方のストレス軽減、負担減に繋がっていると話を聞いて感銘を受けました。患者、またその家族とのコミュニケーションの重要性を改めて認識し、ご家族の負担軽減、それによって患者のQOLの向上につなげていきたいと感じました。

診療報酬に関しては、以前は管理栄養士の在宅訪問について、総合病院等に所属する管理栄養士の訪問だけが在宅訪問栄養食事指導が取れていましたが、令和2年度の診療報酬改定により近隣の病院、クリニック等が沖縄県栄養士会と連携し業務を委託することで算定できるようになったとのことでした。

最後に、佐久間先生の方から、在宅療養を支援するうえで多職種連携が必要で、自分ができないならつなげる。各職種の専門性を知っておくことの重要性。各職種に顔見知りを作り気になることを聞ける関係性を作ることが大事とお話がありました。

今回の研修を受けて、服薬指導の際に栄養状態を把握し、低栄養、フレイル等を意識して、病態に合わせた栄養指導、また在宅等では、多職種と連携しながら療養者に寄り添い、食の楽しみを含めた、療養者のQOLの向上につなげていきたいと思いました。

お知らせ

<県薬が会員に販売している印刷物等>

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| ○お薬手帳 | ○管理薬剤師業務日報 1年分 1冊 600円 |
| 薄青色 14ページ 1冊 12円 | ○処方せん 100枚 1冊 160円 |
| 薄黄色 34ページ 1冊 22円 | ○お薬手帳カバー 1枚 22円 |
| ○“マシュー君”お薬手帳 1冊 22円 | |
| ※薄青色、薄黄色の2色ありますが、同内容・同頁です。 | ※表示価格は税抜きです。 |

保健・福祉

令和3年度薬剤師認知症対応力向上研修報告

日時：令和3年10月3日（日）13:00～17:20

会場：Web（ZOOM）開催



保健・福祉委員会
中尾 滋久

令和3年10月3日（日）に、完全オンライン（ZOOM）で本研修会を開催しました。

薬剤師は、認知症の人の状況に応じた薬学的管理だけではなく、認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医をはじめとした医療職や関係機関との連携、認知症の人とその家族への支援体制構築の担い手となることを目的として平成28年度より本研修会を開始しました。

今年度は、Ⅰ. 基本編は読谷村診療所の多鹿昌幸医師（認知症サポート医）から認知症の概要について、Ⅱ. 対応力編は私から薬学的管理や他職種との連携について、Ⅲ. 制度編は沖縄県高齢者福祉介護課の島袋郁枝先生から認知症政策について、那覇市地域包括支援センター繁多川の比嘉美矢子先生から実際の活動状況や事例について講義を行いました。

使用するテキストだけでは、伝わりにくいところや詳細を伝えたいところは各講師がスライドを追加し、より理解しやすい内容で行いました。

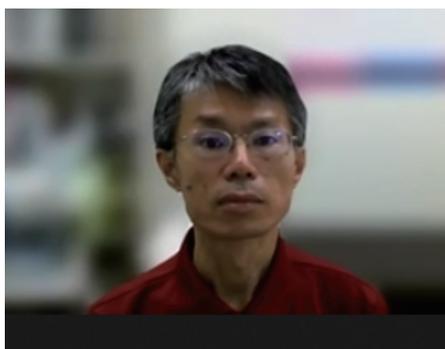
この研修を修了すると沖縄県知事名の「修

了証書」を交付し、同意を得られた薬剤師は研修修了者として沖縄県のホームページに掲載されます。令和2年度研修終了時点で掲載されている薬剤師は420名です（この研修は会員だけではなく、県内に勤務するすべての薬剤師が参加可能なため会員以外の修了者も掲載されています）。また、この修了者名簿は地域包括支援センターなどに配布されます。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、多職種連携・地域包括ケアシステムの中で積極的に関わりを持てる、また認知症の人とその家族からいつでも気軽に相談のできる薬剤師が期待されています。安全な薬物治療を提供するだけではなく、「気づき」や「つなぎ」のできる地域の医療を担う専門職の一員として活動できる薬剤師が増えていくことで、認知症だけでなく罹病後も安心して生活できるようになると思います。

厚労省のサイトにある介護・高齢者福祉の中にある「認知症施策」について詳細な記載がありますので是非ご参照ください。

<講師陣>



webからご講演された多鹿昌幸医師



左から、島袋郁枝氏、比嘉美矢子氏、中尾滋久氏

災害対策

新型コロナウイルスワクチン充填業務報告

<新型コロナウイルスワクチン接種への協力を通して>

会営薬局うえはら
進藤 聡人



沖縄県広域ワクチン接種センターにて、ワクチン充填を薬剤師が担うこととなり、医師や看護師だけでなく、県職員とも協力しながら業務を行なった。

沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）、および沖縄県立武道館（那覇市）の2会場で開催され、平日は一部制、土日は二部制で行われた。接種予約数に応じて薬剤師数も調整され、2～5名の薬局薬剤師および病院薬剤師で取り組んだ。

シリンジの扱いに慣れていない薬剤師も多く参加したためか、不手際もあり、シリンジ内の気泡が大きすぎるケースや、エア抜き操作中にシリンジを必要以上に叩くケースがみられた。さらに、針とシリンジの装着が甘く、

看護師から接種直前に注射針が抜けるアクシデントがあったと聞いている。1つ1つを共有し、間違いやすいポイントを整理して、慎重に業務を行なった。

今回のワクチン充填業務は、所属が異なる薬剤師と意見交換する機会にもなり、貴重な経験ができた。また、経験したことのない感染症蔓延の中において、薬局薬剤師としてパンデミック収束の手伝いができる貴重な機会であった。今後も感染症が蔓延しないためには自分は何をできるか考えながら日々の業務に取り組んでいきたいと思う。

<新型コロナワクチン充填業務を終えて>

すこやか薬局 新川店
寺本 奈都子



今年の7月以降11月まで多数回に渡り、広域接種の新型コロナワクチン充填業務に関わり貴重な経験をさせていただきました。普段は薬局薬剤師として勤務しているため、注射関連の業務に関わる機会が少なく、薬剤師会主催の研修会に参加して充填業務に挑みました。充填手技以外にもCOVID-19に関する知識やワクチンに関する情報などを得て充填業務に従事することが出来ました。

接種会場では、接種時間の1時間前に集合して、その日の接種者の数を確認し、シリンジ組立後に充填業務をひたすら行いました。当番制のため、従事する薬剤師や他職種が毎回異なる状況下でも、協力して行う必要がありました。

今回のワクチン充填業務に携わり、日々の

ニュースで取り上げられる注目の話題に私自身が関与出来ることをとても新鮮に思いました。充填業務中のミスが取り上げられた際にはより一層注意を払い、慎重に行うことで世間の不安を煽らないように努力しました。

次に、様々な分野の薬剤師との交流についても印象に残っています。病院薬剤師は日頃から注射業務に精通しているため、手技に関して教えて頂く事が多く、フォローも頂きました。加えて、薬剤師以外にも多職種の共存する現場を見ることができました。医師の問診業務や、看護師の接種業務や接種者の経過観察、県職員の誘導業務や設営業務など、ワクチン接種の業務には多くの職種の方々

携わっている事を実感できました。

自身の充填業務においては、初めての体験であり、苦勞した点も多くあったように思います。気泡の調整、時間を迫られる業務においては不慣れのため、余計に時間を費やしてしまう事がありました。また、供給不安定によるシリンジのメーカーや規格変更が多く、戸惑う事もありました。特に3mlシリンジでの充填業務はとても手こずりましたが、薬剤

師会からの注意喚起やその日一緒に従事した薬剤師からのアドバイスもあり、無事に充填業務を終えることができました。

様々なトラブルや困難があったと存じておりますが、無事終了したとお聞きして大きく安堵しております。どこの地域でも従事できる業務では無いため、今回、沖縄県でこのような機会を頂き、とても嬉しく思います。ありがとうございました。

<新型コロナウイルスワクチン充填業務、やってみた。>

薬学部を卒業後、1年足らずの病院勤務を経て県庁に採用され、長く現場を離れていた(というより現場経験がほとんどゼロ)の私ですが、今回、沖縄県広域ワクチン接種での充填業務に従事しましたので、報告いたします。

「県庁に薬剤師いるの!？」と充填業務で一緒にいた薬剤師の方々にも驚かれましたが、いるんです。行政薬剤師という名の者達が。何をしているかと申しますと、例えば薬局や病院、麻薬免許等に関する許認可や監視指導、此度のコロナ渦ではワクチンの手配・供給にも行政薬剤師が関わっております。私自身、現在は商工労働部で健康医療・バイオ分野の研究開発支援等に携わっておりますが、コロナ渦で医療現場の逼迫が叫ばれている中、薬剤師として貢献できる絶好の機会として充填業務に参加させていただきました。

充填業務では、接種者数に応じて2~5名の薬剤師が作業にあたりましたが、やはり現場で日々従事されている薬剤師の方々には手際がよく、時に充填のコツを教えていただいたりしました。また、シリンジやワクチンのメーカー(モデルナ製とアストラゼネカ製)によって気泡の入りやすさや充填のしやすさが違うことも実感し、非常に新鮮な体験でした。

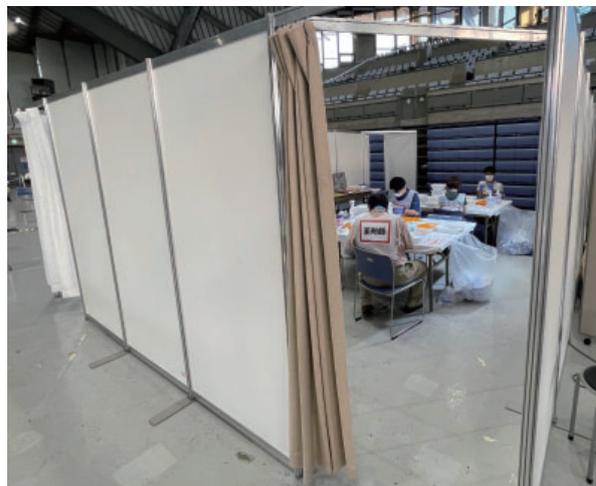
作業そのものの以外点として、予約はした

沖縄県商工労働部ものづくり振興課
神里 奈々子



ものの当日来られない方もいるため受付終了時間が近くなると様子を見ながら1バイアルずつ充填したのですが、その多少の待機時間では薬剤師同士の情報交換もあり、各病院・薬局によってコロナによる影響や状況も違うのだということを実感いたしました。

今回、ワクチン接種にあたってはコロナの収束に向け様々な業種かつ多くの方々携わっているのを実感するとともに、薬剤師として少しでも貢献することができ、嬉しく思います。このような貴重な機会をいただき感謝申し上げます。



広域ワクチン接種センター内のワクチン充填ブース

<新型コロナ感染症に対するワクチン接種における関わり>

琉球大学病院
石井 岳夫



新型コロナ感染症に対するワクチン接種では、様々な関わりをさせていただきました。まず離島でのワクチン接種における薬剤師派遣依頼があり、最初は病院薬剤師の派遣が開始され、徐々に薬局薬剤師へシフトしていきました。離島でのワクチン調製は島により作業量の差が大きく、島によっては薬剤師1名で1時間当たり約60名分の調製をこなしていかなければならない時間帯などもあり忙しく、対して薬剤指導も行う比較的余裕のある島（薬剤師4名体制）まで様々でした。当時はファイザー製のみであり調製手技が煩雑であったことや、日々管理条件が変わっていく状況下であったため（溶解時間、有効期限等）、日々の情報のアップデートも欠かせない中、薬剤師としての役割を担えたのではないかと思います。薬剤調製時の使用に好ましくないプラスチックグローブの変更依頼や、アルコール濃度の低いエタノール製剤から消毒用エタノール製剤への変更依頼、副反応に関する相談等、薬剤師だからできることであったと思います。

当初、離島のワクチン接種の打ち合わせのWEB会議の中では、離島の担当者より「薬剤

師の代わりにもっと看護師に来て欲しい」という声もあったが、関与するに連れて「薬剤師が必要という声が変わっていったことは大変達成感を感じることにつながりました。

広域ワクチン接種会場での調製業務での関わりでは、会場設営から関わらせていただき、必要物品の準備、環境整備等、薬剤師も頼っていただきました。その後、ワクチン接種も始まり、病院薬剤師・薬局薬剤師が協力しながら調製に携わる光景に、病院・薬局の垣根の無い「薬剤師」としての地域貢献ができていると大変感慨深い思いを感じました。

ワクチン接種とは少し話が逸れますが、入院待機ステーションにおける抗体カクテル療法法の投与においても関わらせていただきました。今後はこのような入院患者を減らすことを目的とした、重症化予防での早期治療における段階での薬剤師の関与も重要になってくる可能性もありますので、点滴治療における注射薬調製に関わる研修会の開催なども必要があるかもしれません。今後も薬剤師の多岐にわたった活躍を期待します。



ワクチン充填ブース内の薬剤師業務風景

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➔ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電話 098-963-8930

➔ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電話 098-963-8935

➔ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➔ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
<ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

薬事情報おきなわ No.268

2022年1-2月号 : Vol.36 No.5

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937



Medical News

●経口中絶薬、英製薬が承認申請 妊娠9週まで 認可なら国内初（毎日新聞 12月22日）

人工妊娠中絶ができる経口中絶薬について、英製薬会社ラインファーマが22日、厚生労働省に承認申請した。海外では薬による中絶が一般的で、流産の処置にも使われるが、承認されれば国内初の中絶薬となる。妊娠9週までの初期中絶が対象で、国内治験では服用後24時間以内の中絶成功率は93.3%。

●敷地内薬局、23年開局 日本海総合病院、地元薬剤師会運営で調整（山形新聞 1月8日）

日本海総合病院（酒田市）を運営する県・酒田市病院機構が同病院に敷地内薬局を開局させる準備を進めている。2023年4月の開局を目指す。運営は酒田地区薬剤師会が担う方向で調整中。患者の負担軽減などで全国的に同様の取り組みは進んでいるが、薬剤師会が運営する例はないという。地域の各薬局の特徴や強みを把握し、患者の居住地の近くで薬を得られるよう案内所や相談所といった役割も担う方針。

●実務実習連絡会議 大学と薬剤師会 統一見解を-未接種学生（薬事日報 1月14日）

文部科学省の「薬学実務実習に関する連絡会議」が7日に開かれ、2021年度第III期実務実習で新型コロナウイルスワクチン未接種の学生の受け入れを拒否する施設が見られたことが報告された。参加者からは、健康上の理由以外で接種しない学生への対応について、大学と薬剤師会で統一見解を示すよう提案する声などが上がった。厚生労働省が昨年5月に発出した事務連絡では、ワクチン接種やPCR検査陰性証明が実習受け入れの必須要件とならないよう、大学と実習施設間で対話に努めることを求めている。

●後藤厚労相「レムデシビル、軽症者にも」-適応外使用の扱いで（薬事日報 1月31日）

後藤茂之厚生労働相は28日の閣議後会見で、中等症・重症患者向けの新型コロナウイルス感染症治療薬「レムデシビル」を軽症患者に投与することを認める方針を示した。オミクロン株への効果が示唆されたことを踏まえたもので、適応外使用の扱いとなる。

●ストレート合格率大幅低下～文科省・薬学部調査結果（薬事日報 1月31日）

薬学部の標準修業年限内における2021年度薬剤師国家試験合格率（ストレート合格率）が前年度と比べて上昇した大学が57校中3校にとどまる実態が、文部科学省の調査で明らかになった。私立大学では第一薬科大の18.29%など、3割を下回る大学が6校に上った。初めて公表された退学率では医療創生大学の56.25%を筆頭に、3割を超える大学が7校見られ、ストレート合

格率が低い大学と退学率の相関が高かった。15年度入学生の内国試ストレート合格率を見ると、私立大学では、星薬科大84.62%、慶應義塾大80.00%と8割を超えたのは2校で、北里大78.87%、明治薬科大78.83%などが続いた。

●ウエルシア、研究用抗原キット販売再開 医療用品簿で（日本経済新聞 2月1日）

ウエルシアホールディングは1日までに、新型コロナウイルスの抗原キットで国が承認していない「研究用」の販売を再開した。全体の半数にあたる1000店でまず販売し、1週間ほどで全国の店舗に納品する。「医療用」の抗原キットの入荷が不安定な一方、需要が高止まりしていることに対応する。

●不妊治療薬の保険適用へ～厚生労働省（日本経済新聞 2月2日）

厚生労働省の中央社会保険医療協議会は2日、不妊治療で使われる医薬品16品を保険適用とすることを了承した。不妊治療に公的医療保険を4月から適用する措置にあわせた。早発排卵防止薬「セトロライド」や性功能改善薬「バイアグラ」などが対象。厚労省は中医協の了承を踏まえ、不妊治療での用途に限り保険適用を認める方針。不妊治療のための医薬品に保険が適用されれば、患者の負担は減る。これまで不妊治療の保険適用の範囲は基本的な検査などに限られ、自費での診療が主流だった。4月からは人工授精や体外受精などにも適用範囲が広がる。

●科学的根拠に基づく議論を-緊急避妊薬のOTC化～市民団体（薬事日報 2月7日）

市民団体「緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト」は4日、緊急避妊薬のOTC化に関する議論が昨年からは始まったことを踏まえ、▽OTC化の検討・課題整理を早急に進めること▽市民・当事者の声を反映し、服用する当事者の負担にならない条件や対応を考慮すること▽世界保健機関（WHO）など国際機関の勧告を踏まえ、科学的根拠に基づいた緊急避妊薬の提供を検討することを求める要望書を後藤厚労相宛てに提出した。同プロジェクトは昨年10月にも要望書を提出している。厚労省側は、「避妊に関する教育も含めてOTC化は社会全体で考えるべき問題」との考えを示すにとどめた。

●薬局無料検査を一時中止～一部の県、キット品簿で（薬事日報 2月7日）

新型コロナウイルスの検査数が増大し、抗原定性検査キットやPCR検査キットが品簿となっている問題で、岡山県や茨城県等一部の県は薬局での無料検査を一時中止した。発注した検査キットが薬局に届かず、検査を受けられない地域住民の苦情対応に迫られた薬局からは、「負担軽減につながる」との安堵の声が漏れた。

沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

●安全性情報●

[質問] ケトプロフェンテープ40mgを腰に貼り、薄めのシャツを着て外で作業していたが、気付くと貼ったところが赤くなっていた。薬局からは太陽に当たらないように言われていた。かぶれや痒みはないが大丈夫ですか。

[回答]ケトプロフェンテープによるこの副作用は紫外線を避けることで防ぐことができるとされていますが、シャツが薄めだったため紫外線が十分に遮断されなかった可能性があります。症状によっては全身に皮膚炎症状が広がり重篤化することがありますので、すぐに使用を中止してください。また、症状の出た部位を紫外線に当てると症状が悪化することがありますので厚手のシャツ等で覆うようにしてください。この成分のお薬は使用中だけでなく剥がした後、少なくとも4週間は同様に注意が必要です。

[質問]吐き気の症状がある時に、ブスコパンと桂枝加芍薬湯を飲んでいる。現在便失禁の症状や嘔吐があるが、副作用ですか。

[回答]ブスコパンによる消化器症状の副作用として便秘、腹部膨満感等が報告されています。現在の症状については副作用の他、別の病気が原因で起こっている可能性もあります。便失禁は日常生活にも影響をきたすため、早めに医師にご相談ください。

[質問]不安症の家族の事。かかりつけのクリニックから紹介状をもらって病院に行ったところ、統合失調症でもないのにクエチアピンが処方された。強い薬を出そうかといってこの薬を出されたが、飲んだ後から震えが止まらず、眩暈もある。処方医に相談したらそのままでもいいと言われ、薬局の薬剤師からは医師の指示通りに飲むように言われた。どうすればいいのかわからない。

[回答]服用後に現れた震えや眩暈は副作用の可能性がありますが。通常は処方医に相談する内容ですが、納得して治療を受けるため、別の医師に意見を求めるのも一つの案です。

[質問] 4～5年前から睡眠薬を使用している。以前は

ゾピクロンを飲んでいたが、6か月前にサイレースにかわった。その頃から、150あった血圧が現在130位に落ち着いている。血圧にも関連しているのか。

[回答]サイレースには血圧低下の副作用が報告されています。また、血圧の変動は体調や病状の変化が原因で起こる事もあります。例えば、病院では緊張やストレスのために血圧が高くなることもあり、逆に家庭では静かで安定した環境で測るため病院の測定値より低く出ることがあります。現在血圧も基準値の範囲内にあり問題ないと考えますが、ご心配な事があれば主治医にご相談ください。

[質問] 子供が頭痛がすると言ったので、自分（大人）のカロナール500を飲ませてしまった。体重は28Kgしかないけど大丈夫ですか。飲んで30分経つけど今の所いつもと同じで元気がある。今日は病院が休みで相談できない。

[回答]カロナールの成分アセトアミノフェンの小児用量は体重1Kgあたり1回10～15mg（適宜増減）とされています。体重28Kgで換算すると1回量は280～420mgが適量となりますのでお子様には少し多めだった事になります。アセトアミノフェンの副作用には低体温や吐き気などが報告されています。服用後1-2時間後が血中濃度のピークになり徐々に体から消失していきますので、しばらく様子を見て、気になる事がありましたらすぐに医療機関を受診してください。

●新型コロナウイルスワクチン関連●

[質問]コロナワクチン（ファイザー）の2回目接種後2～3日経っているが頭痛が続いている。副反応ですか。

[回答]コロナワクチン接種後の症状は、接種翌日をピークに発現することが多いとされていますが、大部分が数日以内に回復していきます。ただ、今後も頭痛が続くようでしたら早めに医療機関にご相談ください。なお、1回目の接種後よりも2回目の接種後の方が、副反応の発現頻度が高くなる傾向も確認されています。

[質問]ワーファリンを飲んでいるから、コロナワクチンの2回目は接種部位が青あざみたいになっていた。痛

くも痒くもなかったけど、3回目も同じ感じですか。
 [回答]接種部位の青あざ（内出血）については、服用薬のワーファリンが原因で起こる可能性があり、3回目のワクチン接種後もおそらく接種部位に前回と同様の症状がみられると考えます。接種時には予診票に服用薬剤をご記入いただき、青あざについても、問診の際に担当医にお伝えください。

●その他の質問●

・11年前に抗うつ薬をもらって以降便秘で苦労している。武田漢方便秘薬やラキソベロンも用量を守って飲んでいますが効果がない。

・精神病院に通っていてクエチアピン100mgを5～6年飲んでいる。調子がよければ半錠にする等調製していると言われたが、どのようにしたらいいのか分からない。

●苦情・ご意見●

・裁判で薬局の領収書を日ごとに提出するよう要請されたので、薬局に電話でお願いしたが、これが客に対する言動かと思うような態度だった。沖縄県の薬局は客に対する対応ができていない。「時間がかかるから待つように」言われたけど、いつまでか聞いても「わかりません」と言われた。

・個人の情報（薬情）を別の患者に渡した。大きなミスだと思う。薬局は謝りもせずにはいいますという。言葉は恫喝まがいで、やくざか何かのようだ。薬剤師会は処分とか行っているのか。薬剤師免許剥奪とかもできるのか。

・ある薬局が錠剤をカプセル剤に変更したり、用量を間違えて患者に渡して副作用が起きている。手元の控えと違う薬剤になっており困っている。薬局全体でこういう事がまかり通っていたらと思うと不信感がある。患者も怒っているし、薬局が訴えられるかもしれませんよ。状況を確認してほしい。(医師)

・服薬指導料というのは薬を受け取る際に説明を受けて支払う料金じゃないんですか？薬と説明書だけ渡されて終わりだった。今回だけでなく、初めてもらう薬や点鼻薬の時もそうだった。薬の説明もしないのに、この金額を支払われるのかおかしくないですか？

・保険調剤の明細について。技術料、薬剤料、患者負担割合などと書かれているが、これを見ると薬ごとの負担が不明瞭。私自身で計算したいが、やり方がわからない。詳しく説明してほしい。

・クリニックでの会計後、処方箋を調剤薬局にFAXしてあると言われ、薬局のチラシを渡された。調剤薬局は私達患者側が選べるものだと認識しているが、確実に特定の薬局へ誘導している。患者の許可無しに個人情報記載されている処方箋をFAXしている。事実を明確にさせていただき、今後このような事がないようご指導の程宜しくお願いします。

◎厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルスに関するQ&A（企業の方向け）」より

[質問]新型コロナウイルスワクチンを接種していない労働者を、人と接することのない業務に配置転換することはできますか。

[回答]一般に、個別契約または就業規則等において業務上の都合により労働者に転勤や配置転換を命ずることのできる旨の定めがある場合には、企業は労働者の同意なく配置転換を命じることができませんが、その場合でも配置転換は無制限に認められるわけではなく、不当な動機・目的がある場合や、配置転換の業務上の必要性とその命令がもたらす労働者の不利益とを比較衡量した結果として、配置転換命令が権利濫用に当たると判断される場合もあります。

新型コロナウイルスの感染防止のために配置転換を実施するにあたっては、その目的、業務上の必要性、労働者への不利益の程度に加え、配置転換以外の感染防止対策で代替可能か否かについて慎重な検討を行うとともに、配置転換について労働者の理解を深めることに努めてください。

なお、労働者の勤務地や職種を限定する合意がある場合に、その限定の範囲を超えて配置転換を行うにあたっては、労働者の自由な意思に基づく同意が必要であることにも留意してください。

また、優越的な関係を背景として配置転換の同意を強要等した場合、職場におけるパワーハラスメントに該当する可能性があります。事業主は、パワーハラスメント防止のための雇用管理上の措置が義務付けられていますので、労働者から配置転換の同意を得る際は、パワーハラスメントが生じないよう留意する必要があります。

今月の特集・論文

* 薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇ medicina 59 巻 1 号
- * クリニカルクエスチョンで学ぶ糖尿病治療薬
- ◇ エキスパートナース 38 巻 1 号
- * COVID-19 で“敏感”な今こそおさえておきたい！
すぐに対応すべき発熱がわかる発熱の基本 4 つのポイント
- * ナースが知っておきたい COVID-19 の後遺症
- ◇ きょうの健康 1 月号
- * 尿と便の悩み
- ◇ 月刊薬事 64 巻 1 号
- * 当直でもあせらず対応！夜間によく出合う症状とよく出る薬
- ◇ 産科と婦人科 89 巻 1 号
- * 外陰疾患 AtoZ
- ◇ 総合診療 32 巻 1 号
- * 実地医療が楽しく学ぶ「熱」「炎症」、そして「免疫」
- 街場の免疫学・炎症学
- ◇ 調剤と情報 28 巻 1 号
- * 薬学的管理に活かす！臨床薬理 UPDATE 2022
- ◇ 治療 104 巻 1 号
- * よくあるしくじりプラクティス top3
- ◇ 日経ドラッグインフォメーション 291 号
- * 考えたことありますか？独立・開局という選択
- ◇ 日本医事新報 5093 号
- * 手術／処置前の安全な抗凝固薬・抗血小板薬の休業
- ◇ 日本医事新報 5094 号
- * 頭皮の痒み・炎症・フケ治療—治療法×治療薬
- ◇ 日本医事新報 5095 号
- * 内科医が診る不明熱—ケースで学ぶ鑑別診断のすめ方
- ◇ 日本医事新報 5096 号
- * 免疫チェックポイント阻害薬の有害事象対策
- ◇ 日本医事新報 5095 号
- * 内科医が診る不明熱—ケースで学ぶ鑑別診断のすめ方
- ◇ 日本医事新報 5099 号
- * 「インスリン離脱」成功症例を読み解く
- ◇ 薬局 73 巻 1 号
- * 「つながる」記録術

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶ 腎機能低下患者に使える解熱・鎮痛薬、抗菌薬、睡眠薬は？
月刊薬事 64 (1) p.95
 - ▶ 高齢者に推奨される睡眠薬は？
月刊薬事 64 (1) p.117
 - ▶ 麻薬貼付剤を誤って剥がしてしまった。また貼ってもよいか？
月刊薬事 64 (1) p.105
 - ▶ オピオイドが経口薬から貼付薬へ変更されたら
日経ドラッグインフォメーション (291) p.PE007
 - ▶ PTH 投与中の骨粗鬆症患者にαロールを低用量で処方
日経ドラッグインフォメーション (291) p.PE011
- #### ■新薬■
- ▶ 添付文書からRMP、審査報告書まで新薬なめ読み [15]
レカルブリオ®配合点滴静注用 (レレバクタム水和

物・イミペナム水和物・シラスタチンナトリウム)
月刊薬事 64 (1) p.166

- ▶ 臨床ですぐに使える 薬学トリビア [45] KPI
月刊薬事 64 (1) p.154

■安全性情報■

- ▶ 緑内障が関与する相互作用 (2)
日経ドラッグインフォメーション (291) p.PE011
- ▶ 足白癬に対する外用抗真菌薬による接触皮膚炎
日本医事新報 (5099) p.10
- ▶ オキサリプラチンによる末梢神経障害
調剤と情報 28 (1) p.98

■薬剤師業務■

- ▶ リスク評価につながった「薬剤管理指導記録」の書き方・残し方
薬局 73 (1) p.49
- ▶ 疑義照会につながった「薬歴」の書き方・残し方
薬局 73 (1) p.68
- ▶ 処方変更につながった「トレーシングレポート」の書き方—介護者の薬識不足への介入—
薬局 73 (1) p.78
- ▶ 多職種連携につながった「居宅療養管理指導報告書」の書き方・使い方
薬局 73 (1) p.87
- ▶ 安全性情報の構築につながった「医薬品安全性情報報告書」の書き方
薬局 73 (1) p.106

■産科・婦人科■

- ▶ 生後 6 カ月以下の乳児において、母乳だけでは将来的な牛乳アレルギーは予防しにくいのか
日本医事新報 (5095)
- ▶ 一歩踏み込む 妊婦・授乳婦の服薬指導 ワルファリン服用中の拳児希望の女性
日経ドラッグインフォメーション (291) p.PE020

■漢方療法■

- ▶ 頑張る女性をサポートする漢方処方プロセス (8)
月経痛 (下腹部痛)
治療 104 (1) p.91
- ▶ 医療用漢方製剤の有害事象リスク
日経ドラッグインフォメーション (291) p. PE018

■新型コロナウイルス感染症関連■

- ▶ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の治療薬は？
月刊薬事 64 (1) p.77
- ▶ 「新型コロナウイルス感染症」に対して使用される治療薬は？
総合診療 32 (1) p.28
- ▶ 増え続ける新型コロナ後遺症 - いまある武器でどう症状を改善させるか
日本医事新報 (5096) p.14
- ▶ コロナ禍から得た反省や教訓で、今後の AMR 対策に活かそうなもの？
日本医事新報 (5096) p.54

■その他■

- ▶ 医師として知っておくべき Apple Watch と心房細動
日本医事新報 (5095)
- ▶ 医療用医薬品添付文書の記載要領の改正について
調剤と情報 28 (1) p.69

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

コロナ後遺症の実態と課題は？

日本医事新報 5096号

米国疾病管理予防センター（CDC）や、英国のNICEガイドラインでは、COVID-19罹患後4週間以上続く症状をロングCOVIDとしています。世界保健機関（WHO）は、回復後に出た症状も含め、発症から3カ月以内に2カ月以上続く症状を後遺症としました。コロナ後遺症の定義は、国際的にコンセンサスが得られていない状況です。国立国際医療研究センター国際感染症センターで、COVID-19罹患後の患者526人にアンケート調査を実施した結果、半年後、回答者457人（回収率86.9%）の26.3%（120人）に、倦怠感や味覚・嗅覚異常などの症状を認め、1年後も8.8%に1つ以上の症状がありました。調査では、COVID-19の症状を①急性期症状、②急性期から遷延する症状、③回復後に出現する遅発性症状、に分類しました。②は主に倦怠感、味覚・嗅覚障害、咳嗽、呼吸困難など、③はウイルス感染後疲労症候群とも呼ばれ、脱毛、集中力や記憶力の低下、うつなどの症状があります。さらに、脳に霧がかかったようになって思考力や認知機能が低下するブレインフォグ（脳の霧）、頭痛、しびれなどの神経症状が続く人がいることも注目されています。

国立国際医療研究センター病院
森岡 慎一郎

妊婦・授乳婦に使える
解熱・鎮痛薬、抗菌薬、睡眠薬は？

月刊薬事 1月号

2019年4月より添付文書の記載要領が変更され、多くの医薬品で非臨床試験での毒性や乳汁中濃度などの具体的な結果が記載されるようになり、格段に利便性が高まった。不足情報を補うソースとして、医薬品インタビューフォーム、「Drugs in Pregnancy and Lactation」、「Drugs and Lactation Database (LactMed)」等もある。解熱・鎮痛薬の第一選択薬アセトアミノフェンは、用量調節は不要で通常量を投与する。ADHDとの関連性が完全には否定されておらず、漫然とした長期使用は回避しなければならない。抗菌薬や睡眠薬については、投与することが本当に必要なかどうかなど、投与時のリスクとベネフィットの評価が重要です。抗菌薬であれば多くの薬剤が選択肢にあげられる。不十分な睡眠が続く場合には母体や出産後の育児への影響が懸念される。一方で、胎児への悪影響を心配し、薬剤の使用を控える傾向がある。胎盤通過性の低い成分や相対的乳児投与量を参考に選択する。必要があれば服用し安易な断乳は避け、母乳育児を肯定的に支援することが大切である。

倉敷中央病院 赤木 晋介

外国籍患者への対応で準備しておくことは？

月刊薬事 1月号

外国籍患者への対応では、言語の違いに動揺しないよう、急な対応に備えておくことが重要です。
1. 多言語ツール：1) 石川県薬剤師会の「外国語対応のためのツール集」2) 田辺三菱製薬の「病院・薬局で使う外国語会話集」3) 神奈川県薬剤師会の「多国籍県民のための服薬情報提供文書」は多国語に対応している。2. 多文化共生（国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていく事）：イスラム教徒へは、ブタ由来の成分を含む医薬品は注意を要する。ヘパリンやランソプラゾール、インスリン成分の一部にも含まれている。患者ごとに了解を得て使用することが求められる。3. 翻訳機・アドホック翻訳：近年翻訳精度が向上した翻訳機も多数存在する。一方、翻訳機では高度な情報提供や聴取などは難しく、必要に応じて使い分ける。訓練を受けていない人のアドホック翻訳は過去に通訳の正確性や悪影響・悲惨な医療過誤に関する報告もあり、患者の関係者に全て依存する外国籍患者の受け入れ体制は避けるべきである。

岡山大学病院 東恩納 司

薬剤師からみた医師のしくじりプラクティス

治療 1月号

1. 繰り返される処方カスケード：処方カスケードとは、ある症状が薬の副作用による症状にもかかわらず新しい薬が追加処方されてしまう現象だが、なかなか見つけるのが難しい。アムロジピンによる浮腫などの有害事象が疑われる場合は、他のCCBに変更することで処方カスケードが解消できることがある。シルニジピンに変更することで下腿浮腫が解消し血圧も安定出来た事例がある。
2. 便が硬い＝酸化マグネシウム：日本で処方数量の多い薬は、便秘に使われる「酸化マグネシウム」。高齢者は、治療に難渋し薬物治療が奏功せず、便秘薬だけで多剤併用してしまうというケースもある。PPI、H₂ブロッカーの併用はよい選択とは言えない。対応としては①大腸刺激薬ファースト②PPI、H₂ブロッカーの適正使用の推進。酸化マグネシウムが奏功せず錠数を増やすこととなるのは胃酸抑制が原因かもしれない。
3. 在宅の緊急訪問依頼は理由が必須：薬局のレセプトには「なぜ、緊急配達が必要なのか？」理由の記載が必須である。緊急？切り替え？追加なのか？

パル薬局 三谷 徳昭

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】今日の治療薬 2022 解説と便覧

【監修】島田 和幸 他 【発行】南江堂 【発行日】2022年1月

【版型/頁】B6判/1,450頁 【定価】5,060円(税込) 【幹旋価格】4,550円(税込)

臨床で使われる医薬品を薬効群ごとに解説と便覧で構成したベストセラー。2022年版では、便覧に、妊娠中・授乳期の薬剤使用に関する最も有名なりファレンス分類を表すマークを追加し、ますます使いやすく便利に、ポータルサイトで年3回更新情報も配信。

★【日薬幹旋図書】治療薬マニュアル 2022

【監修】高久 史磨、矢崎 義雄 【発行】医学書院 【発行日】2022年1月

【版型/頁】B6判/2,880頁 【定価】5,500円(税込) 【幹旋価格】5,100円(税込)

後発医薬品に関する情報をさらに充実させるために、①「オーソライズドジェネリック(AG)」および「バイオシミラー(BS)」のアイコンを新設。後発医薬品が広く使われるようになった現在では必要な項目である。また、②電子版による情報提供を充実させた。さらに、③公式サイトでの情報提供を実施。④表紙の素材をより強度・耐久性に優れるものに変更。

ポケット医薬品集 2022年版

【監修】龍原 徹 【発行】南山堂 【発行日】2022年1月

【版型/頁】B6変型判/1,453頁 【定価】5,170円(税込)

『添付文書だけじゃない「その先」の医薬品集』

- ・添付文書情報にとどまらない処方根拠・確認のポイントとなる知識を集約！
- ・薬剤選択・薬物療法管理に必須の最新の医薬品情報を網羅！
- ・薬のメカニズムや、同効薬の比較データも充実！

できる薬剤師とよばれるために 上手に使いたい薬学ナレッジ 101

【編著】北河 修治、清水 忠 他 【発行】じほう 【発行日】2021年12月

【版型/頁】B5判/348頁 【定価】4,180円(税込)

大学で学んだ基礎的内容を気軽に学び直しながら、臨床への応用力を鍛えることを目的とし、薬剤師業務をおこなう上でおさえておきたい101個の項目について取り上げた。この101の課題は、主に薬局薬剤師に対して実施した「臨床で困ったこと」についてのアンケート調査に基づいて作成しブラッシュアップした。

Evidence Update 2022

最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する 1版

【編著】名郷 直樹 【発行】南山堂 【発行日】2021年12月

【版型/頁】B5判/192頁 【定価】2,200円(税込)

●治療薬の最新のエビデンスを一気にアップデート！

新しく追加された情報から、重要なものを厳選し、整理し、わかりやすくまとめ、現場で役立てていくことをコンセプトとして、2012年に「Evidence Update」シリーズが登場。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。
 ※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。
 ※会員価格のない書籍については定価での購入となります。
 ★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

ドラッグノート 2022

【編集】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2021年12月
 【版型/頁】ポケット判/632頁 【定価】2,420円(税込)

調べたい医薬品に最速でたどり着けることをモットーにした目次なしのダイレクト検索が特徴の書籍。[ざっくりとした説明]と[少しだけ詳しい説明]の2段階で薬の効き方について記載しているので、どんな薬かをサクッと調べる際に役立つ。また、体重や年齢で用法が決まる小児の粉末、液剤を表で見やすく編集し、巻末付録にも一覧表を掲載。

なんで使うの？そのくすり 医師が考えるくすりの立ち位置

【編集】村川 裕二/高山 和郎 【発行】南江堂 【発行日】2022年1月
 【版型/頁】B5判/350頁 【定価】4,180円(税込)

薬剤師のギモン「医師は、なぜあの薬を処方するのか？」に答えるため、医師が108の薬の「基本の使い方」「気にする副作用」「愛されている理由」をスッキリ解説。各薬剤のオリジナルキャッチフレーズつきで、立体的な視点から薬のすがたが見えてくる！医師の処方意図がわかれば、服薬指導や投与後のフォローアップにも役立つ。新人薬剤師はもちろん、新人教育担当薬剤師やブランク明け薬剤師にもお勧め。

今日の治療指針 2022年版[デスク版] 私はこう治療している

【総編集】福井 次矢、高木 誠、小室 一成 【発行】医学書院 【発行日】2022年1月
 【版型/頁】B5判/2,224頁 【定価】20,900円(税込)

疾患の頻度情報を加えさらに充実した、信頼と実績の治療年鑑 第64巻。

Pocket Drugs 2022

【著者】福井 次矢 【発行】医学書院 【発行日】2022年1月
 【版型/頁】A6判/1,184頁 【定価】4,620円(税込)

治療薬を薬効ごとに分類し、その概要がわかる「臨床解説」と薬剤情報を掲載。薬剤情報は添付文書だけでなく、「選び方・使い方」、「エビデンス」といった薬剤選択・使用時に役立つ情報も収録。フルカラーで欲しい情報がすぐに探せ、主要な薬剤は写真も掲載。臨床現場で本当に必要な情報だけをまとめた1冊。

薬剤師が知らない在宅医療の世界-在宅対応薬局はこれからが勝負-

【著者】中村 哲生 【発行】薬事日報社 【発行日】2022年1月
 【版型/頁】四六判/159頁 【定価】1,980円(税込)

病院、診療所、介護老人保健施設などを運営する医療法人社団永生会の理事長補佐・在宅医療統括部長を務める中村哲生氏が、在宅医療を担う医療機関側からの視点で、在宅医療をめぐる環境や人間模様、薬局・薬剤師への期待や課題などを書き綴った。薬局・薬剤師が地域の医療チームの一員として“在宅医療マインド”を持ち、これからの薬局経営や薬剤師としての働き方を考えるきっかけとなる一冊。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の見覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937
沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

令和3年度 日薬DEM事業にご参加ください！

(令和4年2月実施)

日薬では、令和3年度もDEM(薬剤イベントモニタリング：Drug Event Monitoring)の事業を実施します。DEM事業は、薬局が医薬品の適正使用に一層貢献することを目的としていますが、合わせて薬局薬剤師の有用性を社会に示すものでもあります。本年度も大きな成果を上げたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。前回同様、原則としてインターネットでの報告となります。

1.本研究の目的

調査対象医薬品を使用した患者に発生したイベントの内容を調査するとともに、その発生が新薬と比較薬の間で異なるか等についても調査をします。この事業により報告されたイベントを解析し公表することにより、医薬品の適正使用に資する安全性に関する情報を提供することができます。

2.調査対象医薬品

・デエビゴ錠 ・ユリス錠 ・ジャディアンス錠 ・ミネプロ錠 ・スボレキサント
・フェブキソスタット ・ダバグリフロジン ・エプレレノン

3.調査期間

令和4年2月1日(火) ～ 令和4年2月28日(月)

※県薬ホームページの「会員の頁」にて報告画面を公開中。





パーソナルジム通ってみた



レモン薬局 美里店
内嶺 陽平

皆さん体鍛えていますか？

僕はここ数年のコロナ禍でより一層たるんでしまった体を引き締めてデカイ体を作るためにトレーニングをしているのですが、自力であまり頑張れなくて昨年秋ごろからパーソナルジムで指導してもらっています。

これまでトレーニングに関してはネットや動画で学習してジムで実践するばかりだったんですが、ちゃんとやっているつもりでも狙ったところに効かずに怪我をしてしまう。そして何より怪我やうまくいかないという悩みが出てくるとモチベーションが下がってしまい自身の怠慢な性格も相まってトレーニングが続かない・・・

そんな悩みを解決するためにパーソナルトレーニングを申し込んでみたんですよ。

実際に指導を受けてみてよかったところが2つあり、まずは自身のトレーニングへの理解・実践度を常に判断して悪い点をすぐに修正してもらえる点です。

これまでの自分のトレーニングはがむしゃらにトレーニングをしてアバウトに筋肉を疲れさせていただけで、筋肉への適切な刺激が入ってないことを教えていただきました。また、その原因として関節の動きが悪いため別のところに刺激が逃げてしまった結果怪我にもつながっていたと分かりました。そこで関節の動きを出すストレッチをしたり、首・あご・肘などの正しい位置での固定などを僕自身に合う形に指導していただきました。おかげで怪我もなくモチベーションが下がらずに取り組んでいますし、一人でやっていた時とはくらべものにならないくらいの効果が得られています。

次に、トレーナーがいる事で習慣化できる点です。

トレーニングについてだけではなく根本の性格なのですが、自分を甘やかしてしまう悪い癖があるので相手がいる状態でスケジュールを組むと自動的に取り組むことになるので自分の意思がなくとも習慣化していきました。今では空いている時間に頑張るジムに行くのではなく自分からジムに行くための時間を作るようになりました。

申し込む前は安いジムや無料の教材もたくさんある中で高い料金を払ってトレーニングを教わるのなんて必要あるのだろうかと思いましたが、やはりプロの目線で指導を受けると自分の理解・実践の度合いがわかり勉強になりました。そして正しい知識を得て行動を習慣化してしまえばパーソナルの時間が終わっても今後は自分でもそれなりにやれているという自信にもなりました。理想の体はまだまだ遠いですが、これから先も頑張っていきます。

また、今回得られた知識や習慣化の経験は、自身のトレーニングだけでなく患者さんへの指導であったり他の分野でも活用できるので、より一層自身の理解を深めて活用していこうと思います。

やりたい事があってもまだできていない方や独学で行き詰っている方いらっしゃれば、個人指導や環境づくりを試してみるのも良いかもしれませんね。



次号には、平田 崇 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

第53回 暮らしの中の薬草学
身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会
狩俣 イソ

薬草園に雑草のように細く伸びたあまり見栄えのしない馬鞭草があります。近づいてよく見ると薄紫色の小さな花が咲いています。こんなにかぼそげなのに力強い薬効を持っているのだと感心します。

クマツヅラ：馬鞭草：バーベナ

学名 *Verbena officinalis*.L

科名 クマツヅラ科 Verbenaceae

属名 クマツヅラ属 *Verbena*

使用部位 全草

成分 ベルベナリン・ベルベナロール・ β カロチンイリドイド類（ベルベノシドA, Bなど）

【クマツヅラの名称】



クマツヅラ *Verbena officinalis*.L、学名の *officinalis*：オフィキナリスは、スウェーデンの学者リンネがこの植物の学名を作る時、すでに薬用植物として古くから世間に知られていたため、この *officinalis*：薬用の、という意味のラテン学名がつけられている。

平安時代の初期頃までにおいて、クマツヅラは馬の鞭の材料であった蔓性植物であるクロウメモドキ科クマヤナギ属のクマヤナギ（熊柳）であったと云われている。馬の鞭の材料であったクマツヅラが、いつの間にか馬の鞭の代名詞（鞭＝クマツヅラ）として使われ“馬鞭草”の鞭の意味となり、クマツヅラが馬鞭草の和名となった。かたや実際に使われる鞭の材料であるクマツヅラはクマヤナギと呼ばれるようになって、現在に至っていると云う説がある。クマツヅラも本来は“強い葛（かづら）”の意味である。

沖縄ではセンスルーグサやンギャーギーなどと呼ばれ、昔から乾燥葉を煎じてお茶として飲んだり、湯浴みなどに利用されてきた。解熱・解毒・活血・通経・利尿の効能があると、民間で用いられている。

【クマツヅラの歴史】

葉はバベンソウ（馬鞭草）という生薬として、通経・黄疸や下痢の薬として古くから用いられており、『和名抄』に「久末都々良」として登場する。

ヨーロッパでもハーブとして用いられる。“聖なるハーブ”とか“十字架の上のハーブ”とも呼ばれ、十字架にはりつけられたキリストの傷の出血を止めたという言い伝えがある。

中国、イギリスでは、不思議な特性をもつ薬草、“神聖な生薬”と評価され、何世紀にもわたり万能薬として用いられてきた。*Verbena*には祭壇を飾る草という意味もあり、古代ローマでは祭礼に用いるなど、聖なる草とされた。古代ドルイド僧は、清めの水、占い、予言などに用いたという。魔力があり、魔除けの草として、ヨーロッパの古い文献などにその名があり、宗教、呪術に結びつく内容が多く存在する。

【クマツヅラの形態・生態】

本州～沖縄の山野や道端の日当たりの強い場所に生える多年草である。高さ30～80cm、茎は四角形で直立し、上部で枝分かれする。全体に細かい毛が生える。葉は長さ3～10cm、幅2～5cmの卵形で、ふつう3裂し、裂片はさらに羽状に切れ込む。表面は脈に沿ってへこみ、しわ状になる。枝先に長さ30cmに達する細長い穂状花序を出し、直径約4mmの淡紅紫色の花をつける。花期は6～9月。花冠は5裂して平開し、雄しべ4個は花筒のなかにある。果実は4個の分果（長さ約1.5mm）からなり、萼に包まれる。種子及び横に伸びる地下茎で繁殖する。

【クマツヅラの利用】

9～10月頃の開花期に全草を採取し天日乾燥させる。生または乾燥させた葉をハーブティに用いれば、神経を強壮する効果が強く気分を鎮め、目を良くする。中国医学では、月経周期に関わる偏頭痛に用い、黄疸、胆石、喘息、不眠症、月経前の不安、陣痛の促進、母乳の出を良くするといわれている。マラリアやフィラリアにも用いるという。

【クマツヅラの成分】

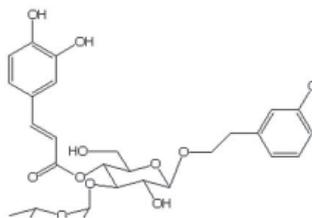
主な成分は、イリドイド配糖体のベルベナリン verbenalin とベルベニン verbenin、ベルバスコシド verbascoside や、アルカロイド、精油成分シトラール、タンニン、βカロチンなどである。地上部にウルソール酸 ursolic acid を含む。

機能面では、清熱、解毒、消炎、利尿、通経薬、皮膚病などへの有用性が示唆されている。民間企業が行った試験で、抗酸化作用やコラゲナーゼ阻害作用、チロシナーゼ阻害作用、ウレアーゼ阻害作用、抗ストレス作用、抗アトピー作用などが確認されている。

精油成分シトラールには抗ガン効果があることが中国の鄭州医科大学のWei 等により報告されている。

- ◆ 抗炎症作用：多くの研究によって、内服・外用の両方で抗炎症作用が確認されている。
- ◆ ストレス緩和、良眠作用：マウスを用いた研究では、クマツヅラが入眠時間を短縮、睡眠時間を延長することが確認された。また同研究では、てんかん発作の頻度や発作時間が短縮されることも確認されている。心や神経を鎮める働きがあり、抗てんかん薬としても有効である可能性がある。
- ◆ 健康な歯茎のために：何世紀にもわたり、クマツヅラは歯茎の健康のために利用されてきた。古代ケルト人はクマツヅラの洗口液を用いて、歯茎のトラブルに対処していた。慢性歯肉炎の患者を対象に行われた研究で、フロスと歯磨き後に洗口液で口をゆすぐという工程を数週間続けたところ、歯肉炎指数・プラーク指数ともにスコアが下がった。
- ◆ 抗菌作用：クマツヅラが24もの病原菌に対して抗菌作用を有することが確認されている。黄色ブドウ球菌や緑膿菌に対するクマツヅラ根の抽出物の殺菌力が、抗生物質アモキシシリンよりも高いことが示された。
- ◆ 消化をスムーズに：苦味成分をもつクマツヅラは、唾液の分泌を増やし胃酸や消化酵素の産生を促進することで消化機能を改善する。

【ベルバスコシド】

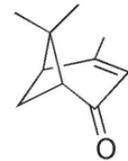


ベルバスコシドは、特に黄色ブドウ球菌に対して抗菌活性を有する。また、抗炎症特性を有する。

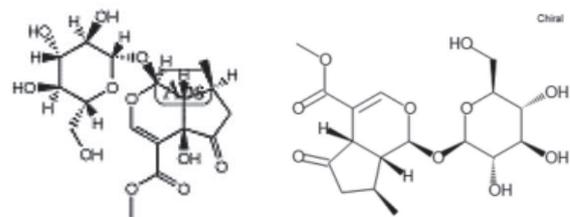
in vitro や in vivo での様々な活性（抗酸化、抗炎症、抗ガン、抗菌、抗ウイルス、鎮痛、神経保護、肝保護作用など）が枚挙にいとまがないほどの論文で明らかにされている。プロテインキナーゼC阻害剤である。

【ベルベノン】

ベルベノン verbenone は名称の由来となったバーベナ（クマツヅラ）の精油の主成分で、テルペノイドの一種である。特徴的な芳香を持つ。二環性のケトンで、天然にはさまざまな種類の植物にみられる。抗微生物活性を持つことが確認されている。L-ベルベノンはレボベルベノンと呼ばれ、鎮咳薬として用いられる。



【ハスタトシドとベルベナリン】



ハスタトシド

ベルベナリン

ハスタトシドとベルベナリンはクマツヅラの睡眠促進成分である。ベルベナリンは既知の物質であるが、優れた安眠誘導効果を有することはこれまで知られていない。伝統的に摂取されてきた植物由来の物質である、ベルベナリン含有の組成物を提供することにより、多くの睡眠障害を持つヒトに対して、手軽に安全性が高く、確実に安眠を誘導することができるようになると考えられる。食品産業分野などにおいて有効に用いることができる。

ベルベナリンには中枢神経系を抑制する作用がある。また脳卒中後の血液循環の改善効果、及びアルツハイマー病の脳細胞損失を防ぐ効果があると中国の濱州医科大学のWang 等により報告されている。

参 考

都立薬用植物園、基本ハーブの事典、野に咲く花、わたしの漢方薬、漢方専門薬局 命門堂、北茶藝館、草根木皮みな薬、北茶藝館、日本の野生植物、熊本大学薬学部、薬草と花紀行のホームページ、富士フィルム和光純薬、東邦大学薬用植物園、Med2013;10(3)512-517, PMID158306、品分析開発 c 特開 2005-154310, Apr;24(4) 542-52 2010

薬連だより

まさゆき 政幸だより

訪問活動のエネルギー源

日本薬剤師連盟
副会長 神谷まさゆき



令和4年もあっという間に1か月が過ぎ、全国支部訪問は1月中旬より山口県と広島県を訪問させていただきましたところ。訪問活動にご協力いただいている多くの皆様に、改めまして御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言のもと、昨年2月にWEBを活用したリモート訪問で始まった全国支部訪問は、感染状況を見据えるとともに対策を徹底し、9月末には宣言・措置が解除されたこともあって、多くの都道府県で直接訪問にて実施することができました。私の思いをお伝えし顔と名前を覚えていただくには、直接お会いし時間を共有することが重要で、コミュニケーションの基本は対面であることは言うまでもありません。一方、WEBの活用は多くの方々とリアルタイムで交流できるメリットがあり、リモート訪問や交流会等のほか、多元中継で結ばれた参加者との対談を多くの方々に配信して観てもらおうなど、さまざまな工夫もしていただきました。

また、支部訪問では皆様から薬業や薬剤師に関する貴重なご意見をうかがう一方で、地域の歴史や文化にふれ、名所や旧跡等について見聞きし、時にはその由来等を調べることもあり、訪問させていただいた支部のことを知り、理解することに役立っています。さらに、訪問活動を進めていくうえで参考になることや気づかされること、励まされたりすることもあり、私にとって全国を駆け回るエネルギー源になっているように思います。

全国支部訪問は残すところあと7県になりました。藤井基之先生からのバトンを受け継ぎ、皆様とともに前に進んでいけるよう全身全霊をかけて取り組んでまいります。神谷まさゆきへの一層のご支援をよろしく願い申し上げます。

JPLフォーラム2022が開催されました

オミクロン株による感染急拡大のため、2月12日現在36都道府県にまん延防止等重点措置が実施されています。このような中で、全国支部訪問は訪問先と連携し対策を万全にして一部WEBも活用し、1月から2月にかけて山口県、岡山県、神奈川県を訪問させていただいております。

さて、その合間の2月11日(祝)に、JPL(Japan Pharmacist Ladies)フォーラム2022「今こそつなごう、女性の力」がWEB開催されました。荻野副会長の開会挨拶、近藤由利子日本女性薬剤師連盟会長ととかしきなおみ前衆議院議員より激励のご挨拶、本田顕子参議院議員による特別講演「全国比例選挙を通じて感じた一票の重み」に続いて、私からはフォーラム参加者の皆様のバックアップを実感しながら充実した活動ができていくことへの感謝の気持ちと決戦に向かう決意についてお話させていただきました。次に6グループに分かれて、「広げようサムシンググリーン」をテーマにグループディスカッションの後、私の支援の輪を広げるための具体的な方策が発表され、岩本幹事長の総評、山本会長の閉会挨拶で終了しました。

昨年6月に続いてのWEB開催となりましたが、グループディスカッションや発表もスムーズに進められ、私も各グループを訪問させていただき皆様と意見交換でき、充実したフォーラムになりました。今後は定期的にWEB会議を開催し進捗状況を確認して活動を推進していくとのことであり、よろしく願いいたします。休日にもかかわらずご参加いただき、ありがとうございました。

神谷まさゆき君を応援しよう！！

ホームページ

神谷まさゆき君の政治信条やプロフィール、活動の様子等をご覧ください



薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌 (Facebook ページ)

神谷まさゆき君の活動の様子をタイムリーに写真や動画とともにご覧いただけます



LINE 公式アカウント



LINE 公式 ID : @804mflcd

メールマガジン

神谷まさゆき君からコラム、トピック等を月1回お届けします



パソコンからの Email 受信拒否設定などをされている場合は、下記アドレスからの Email を受け取れるように設定してください。
info@kamiya-masayuki.com

薬連だより

オレンジ日記 イメージカラーと共に

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師 本田 顕子



吉兆迎春

自宅から静かに眺めた初日の出のオレンジ色の美しい輝きに、今年一年の希望を込めて手を合わせました。元日に、居住区熊本市花園の加藤清正公が眠る本妙寺にお参りに行ってきました。

おみくじには、「温かい心で素直に進むこと」「小さく見える出来事に注意を払う細心さが望まれる」「人の希望する安泰で温かい情景を生み出すようにと書かれてありました。

まさに、私が今年やるべき課題をいただいた気持ちでした。加えて、「温」という文字に、私自身のイメージカラーのオレンジ色を連想しました。私がイメージカラーをオレンジにした第一の理由は、「明るく温かい色」だからです。オレンジ色の心理効果の1つに、「親しみが生まれ仲間意識を高める」という要素があるそうです。人との集い、語らい。その中から生まれる喜びがあります。その喜びが信念となり強く一歩を踏み出していけることを訪問先の皆様から教えていただきました。

議員になる前に全国をまわりながら、オレンジ色で皆様と心をつなげていただきました。その温かい気持ちは月日が経っても色あせることなく、私の心に灯り続けていますが、頂いた温かい灯を、政策の実現という形でお返しできる私でありたいと思います。また、そうなるように努力を続けます。

通常国会が開会し、150日の会期末後には参議院選挙を控えています。日本薬剤師連盟から選任された神谷まさゆき副会長へ組織力の結集が求められる年になります。信念を持って切り拓いていく一年にしていきましょう。

皆様、本年もよろしくお願ひ申し上げます。



誰が安定供給を担うのか

2019年、私が参議院議員として国会に行かせていただいた直後、抗菌薬セファゾリンナトリウムの欠品問題が話題になりました。この時に医薬品の原料の大半が中国に依存していることを知りました。

その後、新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延し、マスク等の医療用物資の不足が社会的問題となり、2020年初頭自民党内に「重要物資の国内備蓄・生産システムの強靱化に関する研究会」が発足し、政府に対して提言を行うなどにより、その後の政府予算や補正予算に医療用物資等の確保事業、医薬品・医療機器等のサプライチェーン実態把握等のための調査事業、医薬品安定供給支援事業が計上されてきています。しかしながら、今でも検査キットの不足、国民の皆様が強く願うコロナワクチンや治療薬の国産化も実現していません。

国民の生存に不可欠な物資について、「誰が安定供給を担うのか」という課題解決に向けて対策が進められています。

そのような中で、政府の「経済安全保障法制に関する有識者会議」が2月1日に「経済安全保障法制に関する提言」を公表しました。これを受けて政府は、「経済安全保障推進法案（仮称）」を今国会に提出する予定となっています。この法案は、安全保障の確保に関する経済施策として4つの制度を創設するとしています。その一つが「重要物資の安定的な供給の確保に関する制度」です。国民の生存や国民生活に甚大な影響のある物資（特定重要物資）の安定供給を図るため、特定重要物資の指定、民間事業者の計画認定・支援措置、特別の対策としての政府による取り組みなどを措置するとされており、私たちが現在直面している安定供給の課題解決にもつながる法律と期待しています。

しっかりフォローしてまいります。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda

薬連だより

国会レポート 令和4年度政府予算案

参議院自由民主党政策審議会長
参議院議員・薬剤師
藤井 基之



令和4年度政府予算案は、昨年12月24日に閣議決定されました。令和4年度一般会計の歳出総額は、前年度当初予算比0.9%増の107兆5964億円と10年連続で過去最大を更新しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に備えて、その対策予備費5兆円を措置し、昨年末の令和3年度補正予算と合わせて万全を期すとともに、成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現を図るための予算となっています。

厚生労働省の一般会計予算総額は、前年度当初予算に比べて3781億円増の33兆5160億円となり、このうち、社会保障関係費が33兆1833億円を占めています。医薬関係では、医薬品迅速開発のための国際調和ガイドラインの作成、アジア等での国際共同治験の支援やPMDAアジアトレーニングセンター事業の拡充等の費用として3.8億円、電子処方箋の導入に向けた医療機関・薬局のシステム整備支援、電子お薬手帳の活用促進等の費用として383.6億円等を要求しています。

本年4月の診療報酬・薬価等改定については、昨年末の財務・厚労の大臣折衝により、診療報酬が0.43%（医科0.26%、歯科0.29%、調剤0.08%）の引上げとなり、リフィル処方箋の導入・活用促進により効率化を図ることも決定しました。一方、薬価は1.35%の引下げとなり、今回も社会保障費の抑制財源を薬業界が負うところとなりました。また、後発医薬品の調剤体制評価の見直し、多店舗を有する薬局等の評価適正化、OTC類似医薬品の保険給付範囲の見直し等について、中医協の議論を踏まえ改革を着実に進めることも確認されています。

令和4年度予算案は、1月中旬に召集予定の通常国会において審議されます。一刻も早い成立に努めて参ります。

ブースター接種の推進

新型コロナウイルス感染症は、欧米諸国等と同様に新たな変異株であるオミクロン株の感染により、1月12日に1万人を超えた1日の新規感染者数は、22日には5万人を、そして2月5日には10万人を超える等、これまでにない驚異的なスピードで拡大が続いています。オミクロン株はデルタ株等と比べて潜伏期間が短く、世代時間（ある人が感染してから他に人に感染させるまでの期間）も2日程と短く、このことが急拡大の要因となっていると考えられます。

他方、オミクロン株では鼻や喉といった上気道の炎症を引き起こしやすいものの、肺まで達して重症化するリスクは、他の変異株に比べて低いことも明らかとなっています。しかしながら、感染者の絶対数が増加することによって、重症患者数も増加しており、早急な対応が求められています。

政府はその対策の一つとして、コロナワクチンの3回目ブースター接種の前倒実施を進めていますが、接種予約が思うように埋まらない現状にあります。接種が進まない理由としては、国民にブースター接種の重要性やファイザー社製ワクチンとモデルナ社製ワクチンの交差接種の安全性等の理解が浸透していないことが考えられます。

こうした現状を踏まえ、自民党政務調査会の新型コロナウイルス対策ワクチンPTは、医療体制を少しでも守るため、ブースター接種の推進等に関する第7次の緊急提言を取りまとめ、政府に提出しました。提言では、今回の感染のピークアウト後にはSARS-CoV-2ウイルスに対する人口レベルでの免疫は一定程度維持され、今後の感染では重症化しにくくなることが期待されるとも記しています。今後如何なる変異株が出現するか分かりませんが、これを最後に8次提言が出ないことを祈りたいと思います。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

転載記事

地元紙に掲載された会員の投稿を紹介いたします！



ぶれいくたいむ

寂聴さんの言葉

新垣 正次 87歳

昨年11月9日に逝去された作家であり僧侶である瀬戸内寂聴さんは、常々「良い戦争はなく、戦争は全て人殺しです。一度と起こしてはならない」「戦争だけは絶対にあつてはならない」と繰り返し反戦・平和の尊さを訴えておられた。

私も、沖縄の地上戦に巻き込まれた者の一人として、寂聴さんが常に訴えておられる、その気概には敬意を表するものである。

寂聴さんが、ある法話の中で語った言葉に、仏教では「己を忘れて他を利するのは、慈悲の極みなり」というのがある。「自分の幸せをおき、人さまの幸せのために尽くすこと」を「忘己利他」という。

また次のような言葉も残している。「人の命というのは、自分でどうしようもないものです。仏教では『定命』、定まる命といいます。死ぬときは決まっています、みんなに定命がある。いつ終わるかかもしれない人生だからこそ、一日一日、一瞬一瞬を大切に生きていきたいものです」と語っておられる。真に肝に銘ずる言葉だと思

(那覇市、薬剤師)

琉球新報：令和4年2月2日（水）

琉球新報 2022年2月2日



ティータイム

孫とじいちゃんの夢

繁 仲宗根

去年の12月9日の日暮れ時、次女の長男で高校3年生の孫が学校帰りに、顔に満面の笑みを浮かべて私の所に来た。

「おじいちゃん、俺、夢だった大に推薦で受験したら、今日合格の通知が来たよ」とうれしそうに近づいてきた。私もうれしくなり、コロナの中なのであちゃんと3人でメニューで合格おめでとうの乾杯。

彼が小・中学生の頃、私の家が学校近くだったので、学校帰りに必ず家に寄り、たまに一緒に本屋さんに行く道すがら、多くの話をし、時には公園で座って空を見上げながら彼の夢を私は聞かせてもらった。

その彼がはや高校3年生になり、大学受験で人生最初の岐路に立ち思い悩んだことだろう。合格して夢が一步前進しうれしかったと思う。これからは自分の目標に向かってしっかり自分の足で歩いてほしい。

人生は自由に何の邪魔もなく歩めるような真つすぐで楽な道ではない。通る者にとっては迷路であつても、自分で見つけた夢ならば、道に迷い訳が分からなくなった時にも、自分に信念があれば必ず道は開けるので、いつも自分の心に聞いて「正しい」と思うのであればやってみて夢をかなえてほしいと思う。

じいちゃんも今年は80代の仲間入り。体力は衰えてきたが心は青春真っ盛りの夢多き80代である。人生の終着駅に着くまでは、君とは夢の道は違つが、負けないようにロマンを求めて今を懸命に頑張っていくつもりだ。一度とない人生だから。

(沖縄市、薬剤師、79歳)

琉球新報：令和4年2月2日（水）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

沖縄県女性の翼が発刊している広報誌に、前濱朋子会長がインタビューを受けた際の記事が掲載されました。

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 第20代会長就任おめでとうございます

インタビュー

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子氏(31期)

沖縄県薬剤師会会長に就任された前濱朋子さんを訪ね、会長就任の思いを伺いました。

前濱さんは宜野湾市で調剤薬局を経営する傍ら、沖縄県薬剤師会の広報委員、副会長などを歴任し、今年6月20日の総会において会長に選任されました。

会員1243人中6割が女性ですが、95年の歴史の中で女性会長は二人目で、全国でも女性の会長は希少です。「薬剤師」は国家資格であるため、仕事の上で男女差を感じたことはありませんが、女性であることで、近所の気軽な相談役、若年者の妊娠、中絶、避妊や子どもの問題などに深い思い入れで仕事ができますと語られました。

かつて「薬学部(科)を沖縄県内の国立大学に」との署名運動が行われま



前濱朋子氏



(左)奥村啓子会長 (右)前濱朋子氏

した。

人口10万人に対して200人の薬剤師が理想とされていますが、沖縄県は140人で全国ワーストです。薬局だけでなく、病院、行政や教育機関など、あらゆるところで薬剤師は必要とされていますが、特に沖縄のような離島県にあっては深刻です。県内に薬学部(科)がないため、経済的な理由で薬剤師への道を断念する若者は多いのです。薬剤師会を中心とした積極的な取組の結果、10万人以上の署名を集める事ができましたが、実現への道はまだまだ遠いとのこと。

これに対し沖縄県は、2018年度から、県内で働く薬剤師を増やすため、県内の薬局または病院に一定期間就業したのちに、奨学金の返還額の一部を助成する制度を創設する等、署名運動の効果は絶大であったとのこと。現在、国は地域包括ケアシステムの

在宅医療チーム等に薬剤師も積極的に関わる事が提言されています。そのため「かかりつけ薬局・薬剤師」として、昔の薬局のようによろず相談的な存在でありたいと考えています。同時に技術的にもレベルアップした薬局、薬剤師でありたいです。また、過去の多くの先輩達が築き上げた道を伝えていくことも会長としての大きな使命だと考えていると語られました。

職場が明るくなったとの声も聞かえる、誰からも慕われ包容力のある前濱朋子さん。きっと、沖縄の薬剤師界も大きく好転することでしょう。



広報委員によるインタビュー

※沖縄県薬剤師会で最初の女性会長となった大城桂子さん(故人)も女性の翼の会員(第7期)でした。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

ファーマシーニュースブレイク



沖縄県、国公立3大学にヒアリング 薬学部の新設可能性、年度内に取りまとめ

沖縄県初の薬学部新設を目指し、県は国公立3大学に実現可能性についてヒアリングを実施している。県薬剤師会も同行。那覇市にある国立の琉球大、県立看護大のほか、名護市の公立名桜大が対象で、年度内にも報告書にまとめる。

琉球大は医学部と付属病院の移転を計画。2024年度の完了を目指し、現在地から北に5.5キロメートル離れた「西普天間住宅地区跡地」（在日米軍から15年3月に返還）に移る。この計画に合わせ、沖縄県薬は同大への薬学部新設を署名活動などを通じて国や県に要望してきていた。

名桜大は沖縄本島北部の12市町村と沖縄県の出資で公設民営として設立され、10年に公立大学法人化。看護や助産学専攻など医療系の学科もある。来年1月投開票の名護市長選で立候補予定者の1人が、薬学部新設を公約の一つに挙げている。県立看護大も、県に2つある県立大の1つとして候補に入っている。

●新設抑制「全くない」末松文科相

国も沖縄県の薬剤師不足の現状と薬学部新設の要望自体は把握。16日の参院予算委員会で末松信介文部科学相は藤井基之氏（自民）の質問に、「薬学部の新設は現在、政府が抑制をかけているものでは全くない」と説明。教育理念や地域での人材需要といった社会的ニーズを踏まえた上で、「専任教員数、施設、設備を確保するなど、主体的な計画を組んでいただく必要がある」と説明した。

その上で、沖縄県の調査研究に協力し、県内大学からの相談には「丁寧に助言し、積極的に必要な支援をしたい」と明言。委員会後には西銘恒三郎沖縄担当相にも伝えるとした。

沖縄県の人口10万人当たりの薬剤師数は全国最下位。そのため、県薬は医師会、歯科医師会、看護協会と連名で薬学部創設を求める約10万筆の署名を集め、玉城デニー知事も琉球大への新設に向けた取り組みに意欲を見せている。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

ファーマシーニュースブレイク

2022年1月21日 金曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2055号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

© 2022じほう

HARMACY NEWSBREAK

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

政治課題に上る沖縄の薬学部新設

選挙公約に記載も、まだ見えぬ着地点

沖縄県内で初めてとなる薬学部新設に向けた動きが加速している。玉城デニー知事の意向に沿って県は2020年度から新設に向けた調査を実施。23日投開票の名護市長選でも候補の一人が市内の公立大への設置を掲げるなど、新設の機運は高まっている。一方で、具体的な設置大学や時期などは未定で着地点はまだ見えてこない。

「名桜大学に薬学部を！」。米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への移設や新型コロナウイルス感染症対策とともに、選挙ピラには薬学部新設についても記載されていた。名護市長選で、玉城知事の支援を受けるこの候補は立候補を表明した当初から、市内の公立大である名桜大への薬学部新設を訴えてきた。

玉城知事も前回18年9月の知事選公約で、県内の薬剤師不足の解消を目指し、薬学部新設を盛り込んだ。当選後の20年度からは、県で初めてとなる薬学部設置の可能性を探る調査を実施。21年度は名桜大や国立の琉球大などにヒアリングし、設置する場合の課題や求める支援策などを聞き取っている。県の担当者は来年度以降の調査継続も見据え、「今後は意向調査など、もう少し踏み込んだ調査もしたい」としている。

●名桜大で調整の動きも

玉城氏は知事選時、琉球大への設置を掲げていた。ただ今回の調査は特定の大学ではなく、県内の国公立が対象。一方、名護市長選で玉城氏が支援する前出の候補は名桜大への設置を主張しており、陣営幹部は「県とは調整した上で市長選の公約に盛り込んでいる」と説明。知事と候補者の「パイプ」を通じ、琉球大ではなく名桜大への設置に向けた動きとみることもできる。

新設の是非は国会でも議論になった。昨年12月の参院予算委員会で薬剤師議員の藤井基之氏が「（本土復帰）50周年という機会に、本土並みの教育を受けられるような環境を沖縄にも用意すべき」と薬学部設置を主張。末松信介文部科学相も、政府として薬学部新設の抑制はしないと明言し、「調査研究に協力し、沖縄県下の大学から相談があった際には丁寧に助言し、積極的に必要な支援をする」とした。

●設置大学や時期、現時点で定まらず

薬学部新設が、市政や県政、国政の課題にまで押し上げられた一因には、県薬剤師会が取り組んできた署名活動がある。18年に10万筆を超える署名を集めた。前濱朋子会長は「署名活動を通じて県民全体に問題意識が広がった」とみる。選挙公約にも盛り込まれるようになった現状に、一定の手応えを感じているという。自身が委員を務める県振興審議会でも、薬学部設置への支援を含む新たな振興計画の素案を県に答申している。

機運が盛り上がる一方で、実際の主体となる各大学の将来ビジョンなどに薬学部新設は盛り込まれていない。「薬剤師需給などの調査から、新設の必要性は高い」とする県も、設置を支援する大学を絞り込んではいない。具体的なロードマップもないため、設置時期も定まっていない。来年度以降、県が調査事業の中でどこまで具体的なプランを固められるか注目されている。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

ファーマシーニュースブレイク

2022年1月20日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2054号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

© 2022じほう

HARMACY NEWSBREAK

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写そのほかの複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

県内初の薬学部「設置支援」明記

沖縄県の新たな振興計画素案

沖縄県振興審議会は19日、薬学部設置への支援を含む新たな振興計画の素案を県に答申した。基本施策の中に薬剤師の確保などを位置付け、県内初の薬学部設置を後押しする内容を盛り込んでいる。

素案は、現状や沖縄固有の課題、基本方針などで構成。今後取り組む基本施策に、人口減少や少子高齢化に対応するための人材育成・確保の一環として、医師や看護師と共に「薬剤師の確保と資質向上」を明記。県内での薬剤師育成に向けて「県内国公立大学への薬学部設置に対する支援など、総合的な薬剤師の養成・確保に取り組む」とした。

このほか、県外の薬学生らを対象に県内就業を条件にした奨学金返還支援にも取り組む。また、医療の高度化や多様化に対応するため、がん薬物療法認定薬剤師などの資格取得への支援なども盛り込んでいる。

県振興審議会は県内の各業界の代表者や学識経験者約50人が参加。沖縄県薬剤師会の前濱朋子会長も委員として参加している。

ファーマシーニュースブレイク

2022年1月25日火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2057号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

© 2022じほう

HARMACY NEWSBREAK

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写そのほかの複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

名護市長選、現職再選

知事支援の新人破る

沖縄県名護市長選は23日投開票され、米軍基地移設を推進する岸田政権の支援を受けた現職渡具知武豊氏（自民、公明推薦）が再選を果たした。玉城デニー知事が推す新人岸本洋平氏（立民、共産、れいわ、社民、地域政党・沖縄社大推薦）を大差で破った。岸本氏は米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への移設反対を訴えたほか、市内の公立大・名桜大への薬学部設置も主張していた。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

沖縄県難病相談支援センター発刊の難病情報誌「アンビシャス」に、本会の吉田典子理事（薬事情報センター長）の執筆記事が連載されています。

Vol.231 (2021年8月号)

今月のおくすり箱

ステロイド外用薬

(塗り薬)のお話



ステロイド外用薬は局所の炎症を抑える働きがあり、湿疹や痒み、皮膚炎等に使用されています。効果の強さにより5つのランクに分類され、体の部位や疾患の程度によって使い分けられています。皮膚の薄い顔や陰部等の粘膜はお薬が吸収されやすいため、弱いランクのお薬を使用します。ただし、ステロイド外用薬は長期間塗り続けていると皮膚が薄くなったり、血管が拡張し顔が赤くなったりすることもあります。また、おむつかぶれとよく似たカンジダ皮膚炎に使用すると、症状が悪化する例も多く報告されています。ステロイド薬は怖いといったイメージをされる方もおられますが、アトピー性皮膚炎の乳児でも正しく使用することで安全に治療することができます。長期間使用しても症状に変化がない場合、悪化した際には必ず皮膚科を受診してください。

最近ドラッグストアでも購入できるステロイド外用薬がありますが、購入の際には薬剤師・登録販売者に使用方法等について確認し、ご自分にあったものを選ぶようにしましょう。



沖縄県薬剤師会
理事 吉田典子

Vol.232 (2021年9月号)

今月のおくすり箱

「アセトアミノフェン」と「タイレノールA」は同じ薬？



「ワクチン接種後にもし熱が出たらアセトアミノフェンという薬を薬局で買うように言われましたが、ドラッグストアでは、タイレノールAという名前の薬を勧められました。2つは同じ薬ですか？」等、新型コロナウイルスの副反応に対するアセトアミノフェンの使用についてのお問い合わせが多くなりました。実のところ、薬には一般名、商品名と二通りの名前があります。一般名とは、薬の有効成分のこと、商品名とは製薬会社がつけた名前です。アセトアミノフェンを成分とする市販の薬には、タイレノールA以外にも、ノーシンAc、パファリンルナー、ポバドンA、ラックル等があります。

ワクチン接種後の発熱や強い痛みなどに使用される解熱鎮痛薬としては、厚生労働省よりアセトアミノフェン、イブプロフェン、ロキソプロフェン等の薬が示されていますが、これらはすべて一般名です。

一般名で薬を探せない場合や、持病があり不安がある人はお気軽に薬剤師や登録販売者に相談しましょう。



沖縄県薬剤師会
理事 吉田典子

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

Vol.233 (2021年10月号)

今月のおくすり箱

サプリメント



健康志向の高まりから人気のサプリメントですが、お薬とは飲み合わせに注意が必要な場合があることをご存じですか。実は、サプリメントの中にはお薬の効果を弱めたり、強めたりする製品もあります。例えば、脳の血流を改善し記憶力を維持するとされるイチョウ葉エキスを、血液をサラサラにすると言われる抗血栓薬を服用中の方が摂ると、薬の効果が強く現れるため血が止まりにくくなったり、あざが出来やすくなるなど副作用である出血傾向が高まる可能性があります。また、古くからメンタルヘルスに使用されるセント・ジョーンズ・ワート（セイヨウオトギリソウ）も、多くのお薬の効果が影響を与えることがわかっています。喘息治療薬、免疫抑制剤を服用中の方が摂ると、お薬の効果が十分に現れなかったり、抗うつ薬を服用中の方では逆に効果が出すぎて重篤な副作用が現れるおそれもあります。

また、サプリメントは、お薬と同様にアレルギーや副作用なども報告されています。特にお薬を服用中の方は、サプリメントを摂取する前に必ず医師や薬剤師にご相談ください。



沖縄県薬剤師会
吉田典子

Vol.234 (2021年11月号)

今月のおくすり箱

薬の保管方法



薬はどのように保管されていますか。薬は誤った方法で保管すると変質の原因となり期待した効果が得られないことがあります。一般的に薬は直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管する事とされています。しかしながら、薬によっては「冷所保存」「光や湿気をさける」等と記載されているものもあります。

医薬品の場合、冷所は1〜15℃と定められていますので、気温の高い夏場は冷蔵庫に保管するのが一般的です。冷蔵庫内の温度は約0〜9℃、野菜室は約3〜8℃に設定されていますので、どちらで保管されても問題ありません。注意していただきたいのは、常温保存でいい薬等を冷蔵庫で保管すると、取り出したときの急な温度変化により結露しかえって吸湿してしまう恐れがあります。

また、夏場は、うっかり車の中に置き忘れたりすると、坐薬が溶けたり、カプセルが変形し変質の原因となります。特に保管の指示がない場合には、乾燥剤を入れた缶や密封できる容器に入れて涼しい場所に保管してください。

ご自身の薬の保管方法については薬袋や説明書などで確認しましょう。



沖縄県薬剤師会
吉田典子

Vol.235 (2021年12月号)

今月のおくすり箱

副作用について



薬はけがを治したり、病気を和らげる目的の「主作用」と、それ以外の「副作用」を持ち併せています。例えば、市販の風邪薬では咳や鼻づまり、痰等様々な症状を和らげる主作用と、眠気の副作用があり、説明書には運転操作をしない等の注意があります。薬の用法用量は、主作用をできるだけ高め、副作用をできるだけ抑えるように定められており、これを守らないと副作用が現れやすくなります。ただし、アレルギーなどの体質的な場合は通常の服用量以下でも起こる事があります。薬によるアレルギー症状（アナフィラキシー等）は服用後、通常数分から30分以内に湿疹や痒み等の全身の皮膚症状が現れ、その後急激な血圧低下や呼吸困難、意識障害等重篤な副作用となる場合があります。薬の服用後に体に異常を感じたら、医療機関を受診するなど早めに対応することが大切です。

副作用を経験したことがある場合、その薬の名前を覚えていれば、その薬を避ける事ができます。「白くて丸い薬」は多く、色や形だけでは薬を特定することはできないのです。ぜひ、お薬手帳には副作用の原因になった薬の名前を記録しておきましょう。



沖縄県薬剤師会
吉田典子

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

国保・社保

国保

令和4年度 レセプト受付日と診療報酬等支払日

	レセプト受付協力日	レセプト受付締切日	診療報酬等の支払日
令和4年 4月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和4年 5月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和4年 6月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和4年 7月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和4年 8月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和4年 9月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和4年 10月	7日(金)	10日(月) *開所	20日(木)
令和4年 11月	9日(水)	10日(木)	21日(月)
令和4年 12月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和5年 1月	6日(金)	10日(火)	20日(金)
令和5年 2月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和5年 3月	9日(木)	10日(金)	20日(月)

※ レセプトの受付締切は、10日(必着)です。(請求省令により毎月10日までと定められています)

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までです。

※ 12月は早期提出に御協力をお願いします。

※ 令和4年4月9日(土)、令和4年7月9日(土)、令和4年10月8日(土)9日(日)、令和5年1月7日(土)8日(日)9日(月)は閉所となり、支払基金の受付日程とは異なりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、安全確実な方法にて毎月1～10日必着をお願いします。

お問合せ先
沖縄県国民健康保険団体連合会
TEL 098-863-2473 (審査課)

国保・社保

支払基金

令和4年度診療（調剤）報酬請求書等受付及び返戻レセプト等発送日

令和4年4月～令和5年3月における診療（調剤）報酬請求書等の受付締切日等についてお知らせいたします。

なお、診療（調剤）報酬請求書等の提出については、請求省令により「診療翌月の10日まで」と定められておりますのでご留意願います。

受付月	受付締切日	受付開所日	返戻等発送日
令和4年 4月	10日（日）	9日（土）・10日（日）	4/4（月）
5月	10日（火）		5/2（月）
6月	10日（金）		6/6（月）
7月	10日（日）	9日（土）・10日（日）	7/4（月）
8月	10日（水）		8/4（木）
9月	10日（土）	10日（土）	9/5（月）
10月	10日（月・祝）	8日（土）・10日（月・祝）	9/30（金）
11月	10日（木）		11/4（金）
12月	10日（土）	10日（土）	12/5（月）
令和5年 1月	10日（火）	9日（月・祝）	1/4（水）
2月	10日（金）		2/6（月）
3月	10日（金）		3/6（月）

※受付時間は9：00～17：30までとしておりますので、ご協力の程よろしく願います。

社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

令和3年12月

- 1水○日本スポーツ振興センター福岡支所来訪 県薬会議室 吉田理事
- 2木○沖縄県CareAF講演会2021 WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 3金○令和3年度都道府県薬剤師会アンチドーピング研修会 県薬研修室 吉田理事
- 5日○**令和3年度オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会** 県薬ホール及びWEB
- 5日○令和3年度第1回薬学部設置可能性等調査事業検討委員会 沖縄タイムス 前濱会長、中村副会長、大城次長
- 6月○令和3年度第9回理事会準備委員会 県薬研修室
- 8水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 8水○災害対策・薬事情報委員会主催研修会「医療用抗原キットの取扱いについて」 県薬研修室 吉田理事
- 11土○令和3年度第2回沖縄県認知症疾患医療連携協議会 WEB 中尾滋久
- 11土○令和3年度第10回理事会 県薬研修室
- 12日○**令和3年度第7回新型コロナワクチン充填作業に係る研修会** 大濱信泉記念館 講師：吉田洋史
- 14火○沖縄観光コンベンションビューロー来訪（未来の人材育成事業のヒアリングについて） 県薬会議室 大城次長
- 14火○令和3年度第5回管理者会議 県薬研修室 前濱会長、城間・宮里・中曽根各管理薬剤師、吉田薬事情報センター長、小泉試験検査センター長代理、大城次長、玉寄係長、幸地・當山両主任
- 15水○徳島文理大学学長来訪 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 15水○沖縄県スポーツ協会来訪 県薬会議室 吉田理事、笠原大吾
- 15水○薬剤師研修協議会連絡会 WEB 稲嶺主任
- 16木○赤帽沖縄県軽自動車運送協同組合へ感謝状交付 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 16木○Diabetes & Incretin Seminar in 沖縄 WEB 主催：大日本住友製薬株式会社
- 16木○令和3年度沖縄県医療提供体制協議会小児医療部会 沖縄県医師会 石田浩
- 17金○新型コロナウイルス感染症医療用抗原検査キットの薬局販売及び薬局等を活用した都道府県の無料検査事業への対応に係る全国担当者会議 県薬研修室 姫野理事、吉田理事、長嶺主任
- 18土○第17回沖縄小児内分泌研究会 WEB 主催：JCRファーマ株式会社
- 19日○**第34回沖縄県薬剤師会学術大会** WEB
- 20月○令和3年度第2回沖縄県国民健康保険運営協議会 県庁 宮城常務理事
- 20月○令和3年度上期監事監査 県薬研修室 前濱会長、川満副会長、江夏・山里両監事、大城次長、玉寄係長、上原主任、城間
- 21火○沖縄県離島振興協議会来訪 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 21火○沖縄県地域保健課来訪「沖縄県アレルギー疾患等医療連絡協議会の委員の打診について」 薬事情報センター 吉田理事
- 21火○**令和3年度第1回栄養管理に関する研修会** 県薬ホール及びWEB
- 22水○令和3年度第1回試験検査センター委員会 県薬研修室
- 23木○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：宮城幸枝氏

会 務 報 告

- 23木○ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業及び感染拡大傾向時の一般検査事業についての説明会 県薬研修室 長嶺主任
- 24金○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部長来訪 つる薬局 前濱会長
- 24金○第3回沖縄県循環器病対策推進協議会 沖縄県医師会 前濱会長
- 25土○第2回離島市町村新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に関する連絡会議 沖縄県医師会 前濱会長、姫野理事、大城次長、長嶺主任
- 27月○第72回沖縄県振興審議会 ロワジールホテル那覇 前濱会長、大城次長

沖縄県薬剤師連盟

令和3年12月

- 1水○神谷まさゆき沖縄支部訪問（2日目）糸満市・豊見城市・那覇市小禄・石垣市の会員薬局 前濱会長、石川幹事長、大城次長、玉寄係長
- 2木○神谷まさゆき沖縄支部訪問（3日目）宮古島市・那覇市・与那原町の会員薬局、株式会社アトル沖縄営業部、株式会社スズケン沖縄薬品 下地睦夫（宮古地区薬剤師会会長）、前濱会長、石川幹事長、大城次長、玉寄係長
- 3金○神谷まさゆき沖縄支部訪問（4日目）那覇市・浦添市・宜野湾市・西原町・与那原町・南風原町・那覇市の会員薬局、株式会社ダイコー沖縄、沖縄東邦株式会社 前濱会長、石川幹事長、大城次長、長嶺主任
- 19日○宮崎政久政経セミナー ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 石川幹事長、亀谷顧問

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

石川 幸子 先生（享年73歳） 令和4年1月1日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
（香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】 沖縄県薬剤師会事務局（玉寄・大城）：098-963-8930



誌上ギャラリー（裏表紙）について

令和3年誌上ギャラリー大賞

第309号（令和3年8.9.10月号）掲載 **新川祥平**氏の撮影写真「薄明光線」

令和3年誌上ギャラリー優秀賞

第308号（令和3年5.6.7月号）掲載 **成川玲子**氏の撮影写真「ジャカラングの街路樹」

おめでとうございます！これからも会員の皆様からの多くの作品をお待ちしております！！

編 集 後 記

気が付けば2022年も2月になり、桜も開花して一気に春めいてきました。プロ野球のキャンプもはじまって、沖縄の春は賑やかですね。ずいぶん昔の話ですが、田淵幸一監督とツーショットで写真を撮ったり星野仙一監督がホテルのロビーでくつろいでいたところに、しれ～っと話しかけたり・・・とミーハーな追っかけをしていました。本当に遠い記憶です。（苦笑）今年やはりビッグボスこと新庄剛志監督押しです。行きますよ～名護市まで。。あれ？私って選手ではなく監督目当てなのかしら。さあ、みんなで沖縄の春を盛り上げましょう。（しっかり感染対策をしながら、ね）（クララ）

明けましておめでとうございます。年の瀬から年明けにかけて、オミクロン株が大流行となり、大変な状況となっています。いよいよ、コロナとの共生が必要な時期に来ているのかもしれないですね。広報委員会でも委員会活動に支障が出ています。取材等がこの2年近くできていない状態が続いており、委員会重鎮の皆様へのストレスもピークに達しようとしています。今年こそは、遠征（取材です）したい！委員各位は血気盛んです。今年も広報委員をよろしく願います。（松）

昨年はコロナ患者対応に追われる中、ジェネリック医薬品の出荷停止問題が忙しさに追い打ちをかけた。我が耳を疑った昨年冒頭の小林化工の睡眠導入剤成分の混入問題に端を発し、日医工、長生堂製薬も問題発覚で業務停止命令を受け、あつという間に医薬品供給の歯車が狂ってしまった。供給停止になったメーカーの医薬品は当然ながら別のメーカーに注文がいくので今度はそちらのメーカーの製品が出荷停止になってしまうと言う「負のスパイラル」が出現。毎日のように問屋から「この医薬品は入荷未定です」と言う電話がかかると右往左往して代替品を捜さなければならない。先発品に戻した医薬品も多数ある。厚労省の「ジェネリック薬品を使いましょう」というお題目が実体の伴わないむなしい取り組みのように思えて文句の一つも言いたくなるが、そこはこらえて自分の持ち場をしっかりとやっていくしかない。一つだけ良かったことは一番使用量の多い「T薬品」のアムロジピンを「AG」に思い切って変えることが出来たことだ。医薬品変更に対する患者様の反応を考えるとなかなか踏み切れなかったが、あつけないほど簡単に変えることができた。どうも患者様も薬の外観が変わることに対して寛容になっているような気がする。（ピアナ）

毎年恒例の健診に挑んできた。10kgの減量に成功して早2年、何とか体重をキープしている(共に減量勝負したある人物は、見事なリバウンドをかましていたのだが、...)ので、生活習慣病の心配はないだろう。だが、一抹の不安がよぎる。そう!アイツだ!!胃の中で3年も飼っている「ピロリ」の存在である。特に悪さもしていないため、毎日の晩酌でアルコール除菌されたかな?という浅慮な考えに、担当医は只々呆れるばかり。一縷の望みも虚しく、内視鏡検査の結果は、、、「萎縮性胃炎」「ピロリ菌陽性」であった。除菌パックを1週間服用しなければならない。ということは、1週間の禁酒である。自粛の中、自分に耐えられるのだろうか。0.5%ビールは大丈夫かな?と冗談ぽく嫁に聞いてみたら、「飲めば〜」と投げやりな返答。もはや、関心もないように見受けられる。ある意味、愛着のあった?「ピロリ」と決別し、五臓六腑に沁みわたる酒の味を想像しながら禁酒に挑むのであった。(ごり)

あけましておめでとうございます。今年もおきなわ薬剤師会報をよろしくお願ひします。2022年はコロナ禍も落ち着いてほしいという気持ちとは裏腹に、第6波に突入しました。自分も体調には気を付けていたのですが感染してしまいました。今年初めの広報委員会には参加できておらず、広報委員の皆様にもご迷惑をおかけしました。今年こそは、コロナ禍が落ち着くよう祈っています。皆様も体調には気を付けてください。(チャゲ)

1月23日の石垣島マラソンにエントリーしていたが、年明けからの新型コロナ第6波により開催が延期になった。延期・中止は想定していたが、ヘルニア持ちの私は約2年ぶりのマラソンに向けて金武観音寺で仏足(足腰御守)も準備していたので残念である。問題は延期となった日程が3月20日ということ。2カ月後にこの第6波が収まっていることが開催の条件となる。今回の延期に伴い飛行機など諸々のキャンセル料が発生してしまったので、3月20日に向けての新たな予約は慎重にならざるをえない。ちなみに県内のマラソン大会は現時点で今年4月開催のものまですべて延期・中止が決定しており、今シーズンで開催の可能性が残っているのはこの石垣マラソンただ1つである。オミクロン株はデルタ株と比べると感染力が非常に強く急速に感染が拡大したので、なんとかその勢いで一気に過ぎ去ってくれることを祈るばかりである。(ハンバーグ)



沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報

第311号 令和4年2月17日発行

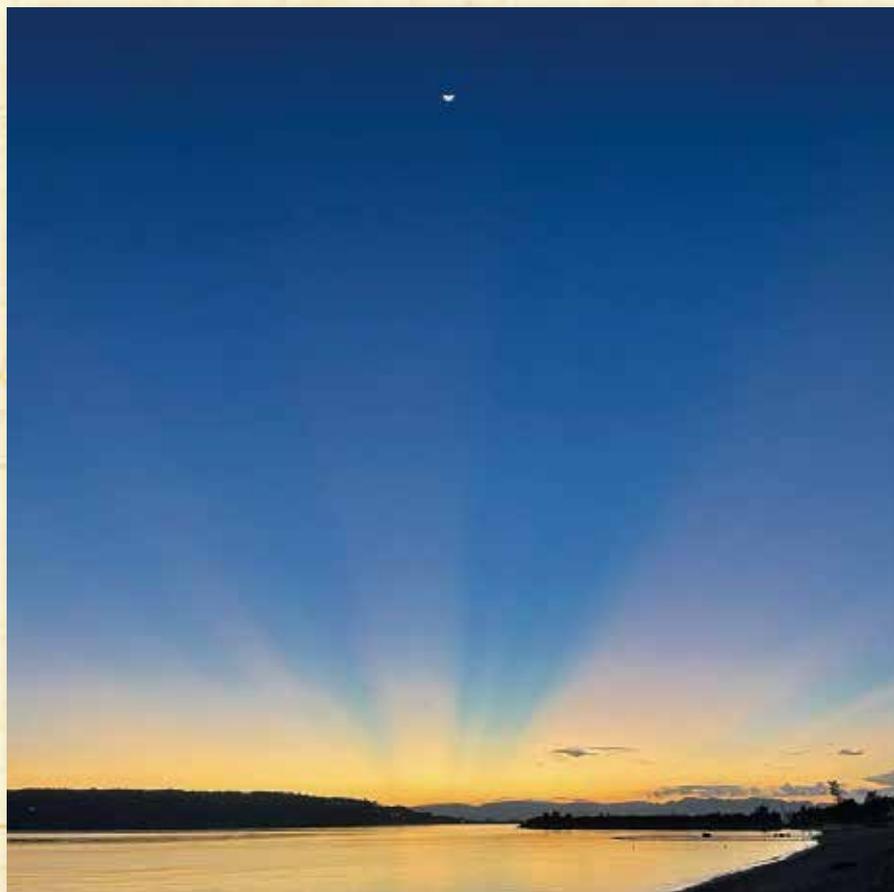
◇次号は、令和4年4月下旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長/宮城敦子 委員/池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・運天芳生・宮本直樹
久米島通信員/山城晶 宮古地区通信員/前里由紀子
八重山地区通信員/安村慶子 事務局/大城喜仁

印刷：株式会社 東洋企画印刷

令和3年 誌上ギャラリー大賞



「薄明光線」photo by 新川祥平(たいよう薬局)
第309号(令和3年8.9.10月号)掲載

令和3年 誌上ギャラリー優秀賞



「ジャカランダの街路樹」photo by 成川玲子(有限会社成和興産)
第308号(令和3年5.6.7月号)掲載